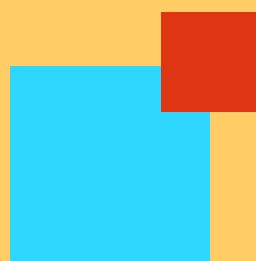
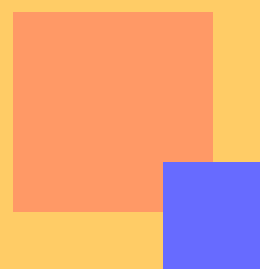
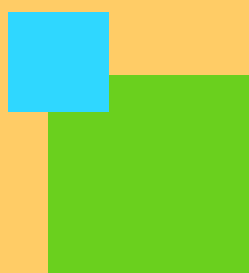


# 茶品種 ハンドブック

第6版 *Version 2*  
2022年8月更新

国費により育成した茶品種



# 目次

品種名 や 項目 をクリックすると  
そのページに移動できます。

🌱 はじめに	_____	1
🌱 品種紹介ページ	_____	2-30
🌱 登録品種の苗の入手・取り扱いについて	_____	31

しゅんたろう 3



ゆめかおり 10



なんめい 4



はるもえぎ 11



はると34 5



きらり31 12



**NEW !!**  
きよか 6



せいめい 13



そうふう 7



さえあかり 14



サンルージュ 8



さきみどり 15







さえみどり 9



**NEW !!**  
かなえまる 16



🌱 品種の味の特徴について	32-38
🌱 煎茶見本一覧	39-40
🌱 品種の来歴	41-46
🌱 苗の入手先一覧	47-48

<b>NEW !!</b> 暖心37	17		おくはるか	24	
べにふうき	18		ふうしゅん	25	
なごみゆたか	19		むさしかおり	26	
りょうふう	20		はるみどり	27	
みなみさやか	21		さいのみどり	28	
はるのなごり	22		ゆめわかば	29	
みやまかおり	23		ほくめい	30	

# はじめに

本冊子は、国費により育成した茶品種をわかりやすく紹介するハンドブックです。発行者である農研機構は、日本の農業と食品産業の発展のため、基礎から応用まで幅広い分野で研究開発を行っています。農研機構の前身は農林水産省の試験研究機関で、2001年に全国の国立の研究所や試験場が統合されて独立行政法人となり、2016年に現在の「国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構」となりました。農研機構では国立試験研究機関の時代を含めると100年以上に渡り、米、麦、大豆、いも類、雑穀、工芸作物、果樹、野菜、花、飼料作物など多様な作物において、収穫量や耐病性、食味などの性質を向上させることを目的に品種改良を行い、優れた品種の育成に取り組んできました。近年育成された品種については右記サイトよりご覧ください。



農研機構  
品種紹介サイト

茶品種ハンドブックは第6版となりました。今版では、新たに品種登録出願公表された「きよか」、「かなえまる」、「暖心37」の情報を追加し、各品種の育成論文や来歴、苗の入手先情報などを盛り込みました。茶品種についての一層のご理解、品種の選択、入手の際の一助となりましたら幸甚です。

本冊子で紹介している茶品種には、埼玉県茶業研究所と宮崎県総合農業試験場茶業支場で育成された品種も含まれています。国が必要とした試験研究に関して、農研機構の立地条件では実施できない試験を特定の公立試験研究機関に委託する指定試験事業と呼ばれる制度があり、茶の品種育成では埼玉県と宮崎県が試験地として指定され、2010年まで国費により品種育成を行っていました。これらの機関で育成された品種は日本全国で利用できることから、農研機構が育成した品種と同様に本冊子上で紹介しています。

2020年は、私たち人類にとって大きな転換点になりました。世界中に新型コロナウイルスの感染が拡大し、日本でも4月7日に緊急事態宣言が発令され、観光業をはじめ飲食業が縮小し、東京オリンピック・パラリンピック2020の開催も延期されることになりました。茶産業においても、新茶イベントの中止やインバウンド需要の激減により、一番茶期の価格の低下を招き、大きなダメージを受けました。生産・流通・消費を取り巻く大きな変化は、「やぶきた」一品種で一番茶期の収益に頼る生産体系の見直しや、早生・中生・晩生の品種を組み合わせた作期拡大の流れを加速化させています。自宅で過ごす時間が増えたことで、食に対する考え方も変化しつつあります。お茶は、世界中で水の次に多く飲まれている飲料です。このような時代だからこそ、新たな日常に、急須で茶を淹れてゆったり飲むこと、多様な品種茶を楽しむことが新たなライフスタイルに加わってほしいと願います。

最後になりますが、本冊子の作成にあたっては、日本茶業中央会および日本茶インストラクター協会をはじめとする多くの方々にご協力いただきました。関係者の皆さまに感謝申し上げます。



2021年1月



農研機構 果樹茶業研究部門

茶業研究監 角川修

# 品種紹介ページの見方

## 🌱 ページの色

栽培に適する地域によってページが色分けされています。

暖地向き

暖地・温暖地向き

温暖地向き（全国も可）

全国向き

冷涼地向き（全国も可）

冷涼地向き

## 🌱 新品種 **NEW !!**

第6版では、新たに品種登録された「かなえまる」、「きよか」、「暖心37」の紹介が加えられています。

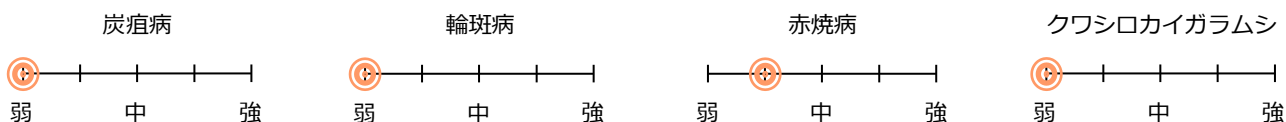
## 🌱 育成者権に関する情報 **NEW !!**

種苗法の改正（2021年4月1日、2022年4月1日施行）を受け、種苗法により育成者権が守られている品種には品種名の横に「PVPマーク」を付しました。また、海外への持ち出し制限、自家増殖の許諾の要否に関する情報等を追加しました。

## 🌱 品種の情報

品種の情報は、それぞれの育成時の報告論文に基づいています。第6版では、それぞれの論文等が掲載されているホームページにQRコードでリンクを付けました。病害虫抵抗性については、九州沖縄農業研究成果情報、野菜茶業研究成果情報および農研機構枕崎茶業研究拠点において実施した接種検定試験結果に基づいています。

### 「やぶきた」の病害虫抵抗性



来歴：埼玉9号（♀）× 枕F1-33422（♂）

育成地：農研機構（枕崎）

2011年12月 品種登録

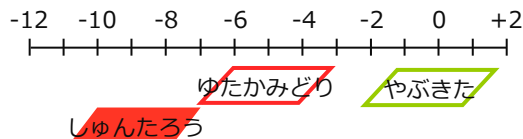
品種登録番号：21261

種苗の海外持出：禁止

自家増殖の許諾：必要（無償）

## 品種の特性

- 暖地での栽培に適する。
- 摘採期は「やぶきた」より7～10日早く、国が育成した品種の中では最も早く摘採できる緑茶用品種である。



- 樹姿は“やや開張型”で、樹勢は「やぶきた」並かやや劣る。
- 一番茶の収量は「やぶきた」並であるが、二番茶では「やぶきた」より2～3割多い。
- 挿し木活着率は良く、幼木期の初期生育はやや弱い。
- 輪斑病に対する強い抵抗性があり、炭疽病に対してはやや強い抵抗性がある。

### 病虫害抵抗性



- 製茶品質は「やぶきた」と同等である。

## 栽培上の留意点

- 萌芽が早いため霜害を受けやすい。
- 耐寒性が低いため寒冷地での栽培には適さない。
- 被覆を行う場合は5～7日間が適当である。
- 芽数型になりやすいため芽重型になるように仕立てる。
- 干ばつ時は樹勢が低下するため、かん水が必要である。

## 加工上の留意点

- 節間がやや長いため、摘み遅れると白茎が目立つ。

「しゅんたろう」  
育成論文

来歴：さやまかおり（♀）× 枕崎13号（♂）

育成地：農研機構（枕崎）

2014年2月 品種登録

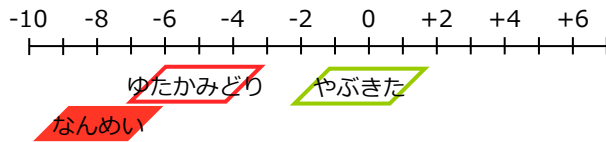
品種登録番号：23034

種苗の海外持出：禁止

自家増殖の許諾：必要（無償）

## 品種の特性

- 暖地での栽培に適する。
- 摘採期は「やぶきた」より6～10日早い（育成地）。



- 樹姿は“直立型”で、樹勢は「やぶきた」より強い。
- 収量は「やぶきた」より3～4割多い。
- クワシロカイガラムシ、輪斑病に対して強い抵抗性があり、炭疽病抵抗性は中程度である。

### 病虫害抵抗性



- 製茶品質は一番茶、二番茶ともに「やぶきた」より優れ、「さえみどり」と同等である。

## 栽培上の留意点

- 早生であり耐寒性はやや低いため、霜害に対しては十分な対策が必要である。
- 赤焼病、もち病には弱いため防除が必要であり、特に幼木期の赤焼病の発生には注意を要する。
- 梅雨等の連続降雨条件下では炭疽病が発生することがあり、防除が必要となる。
- 干ばつ時は樹勢が低下するため、かん水が必要である。

## 加工上の留意点

- 5日間前後の短期被覆（遮光率70%）により外観・内質ともに品質が向上する。
- 下芽の硬化が早いため、適期摘みを心掛ける。

「なんめい」  
育成論文



来歴：さえみどり（♀）× さきみどり（♂）

育成地：宮崎県

2020年3月 品種登録

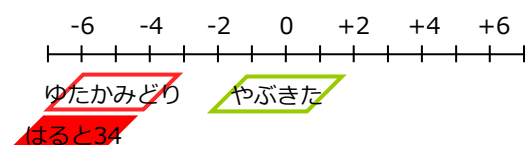
品種登録番号：27873

種苗の海外持出：禁止

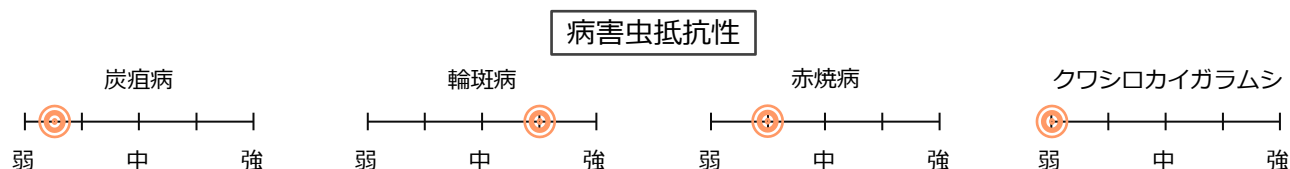
自家増殖の許諾：不要

## 品種の特性

- 暖地での栽培に適する。
- 摘採期は「やぶきた」より6日程度早い（育成地）。



- 樹姿は“中間型”で、樹勢は「やぶきた」より強い。
- 収量は「やぶきた」とほぼ同等である。
- 病害虫抵抗性は輪斑病にやや強い抵抗性があるが、炭疽病抵抗性はやや弱い。



- 煎茶として鮮緑色で色沢に優れ、香気や滋味も「やぶきた」、「さえみどり」より優れる。

## 栽培上の留意点

- 「さえみどり」より早く摘採できる利点を活かせる暖地での栽培が望ましい。
- 暖地でも秋冬季は越冬芽の芽潰れの可能性があるため、防霜に留意する。
- 炭疽病、もち病には弱いため、多発地帯では防除が必要である。

## 加工上の留意点

- 4～5日間の短期被覆（遮光率80%）により外観・内質ともに品質が向上する。
- 釜炒り茶に製茶しても良質である。

「はると34」  
育成論文



栽培・加工技術  
概要集





来歴：FYZ-41（♀）× さえみどり（♂）

育成地：農研機構（枕崎）

2020年11月 品種登録

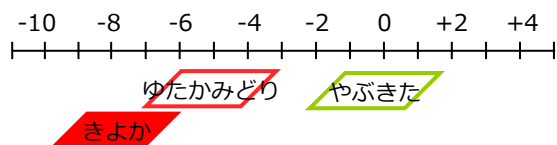
品種登録番号：28148

種苗の海外持出：禁止

自家増殖の許諾：必要（無償）

## 品種の特性

- 暖地での栽培に適する。
- 摘採期は「やぶきた」より8日程度早い。



- 樹姿は“やや開張”で、樹勢は“やや強”である。
- 新芽が大きく芽数が少ない“芽重型”である。
- 香気に甘い花香を有し、かつ、滋味にうま味を有する特徴を持つ。
- 炭疽病抵抗性は“やや弱”、赤焼病抵抗性は“弱”、クワシロカイガラムシ抵抗性は“弱”であるため、防除が必要である。

### 病害虫抵抗性



- もち病に対しては“やや強”の抵抗性である。

## 栽培上の留意点

- “芽重型”であるため、整枝により芽数を増やす栽培管理が必要である。
- 直がけ被覆を短期間（遮光率70%で5～7日程度）行っても、特徴的な花香は強い。
- 温暖地における導入に際しては、防霜施設や茶園の立地条件等を慎重に判断する。

## 加工上の留意点

- 本品種の香気の特徴を活かすためには深蒸しは避けた方が良い。
- 軽度の萎凋後に半発酵茶に加工すると、夏茶でも花香様の香りとうま味に優れる。

来歴：やぶきた(♀) × 静印雑131(♂)

育成地：農研機構(金谷)

2005年2月 品種登録

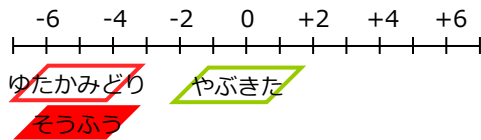
品種登録番号：12706

種苗の海外持出：禁止

自家増殖の許諾：必要(無償)

## 品種の特性

- 暖地での栽培に適する。
- 摘採期は「やぶきた」より4~7日早い。



- 樹姿は“やや開張型”、樹勢は「やぶきた」並である。
- 収量は「やぶきた」と同程度である。
- 幼木期の初期生育は非常に良好である。
- 輪斑病に対する強い抵抗性があり、炭疽病に対しては中程度の抵抗性がある。

### 病虫害抵抗性



- 製茶品質は香気に特徴があり、東洋蘭の花のような香りがする。
- フラボノール的一种であるケルセチンの含有量が多い。

## 栽培上の留意点

- 晩霜害を受けやすい。
- もち病にはやや弱く、赤焼病にも弱いため多発地域では防除が必要である。
- 耐寒性は「やぶきた」より低いため寒冷地での栽培には適さない。
- 新芽数が少なくなり“芽重型”になりやすい。
- ケルセチンの含有量を確保するためには被覆しない。

## 加工上の留意点

- 香気を活かすためには被覆を最小限に留め、普通蒸しか浅蒸しで製茶する。
- 萎凋させて半発酵茶としても利用できる。

「そうふう」  
ケルセチン情報



「そうふう」  
育成論文



来歴：茶中間母本農6号自然交雑

育成地：農研機構（枕崎）

2011年12月 品種登録

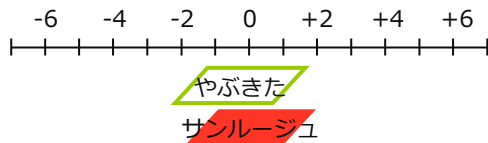
品種登録番号：21262

種苗の海外持出：禁止

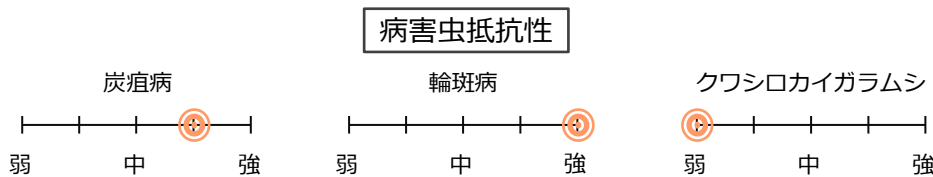
自家増殖の許諾：必要（無償）

## 品種の特性

- 暖地での栽培に適する。
- 摘採期は「やぶきた」とほぼ同じである。



- 樹姿は“中間型”で、樹勢は「やぶきた」並である。
- 新芽のアントシアニン含有量が多い。
- 赤枯れ、裂傷型凍害に対する抵抗性が強く、青枯れに対してもやや強い。
- 輪斑病に対する抵抗性は“強”であり、炭疽病に対してはやや強い。



## 栽培上の留意点

- 挿し木床での活着率はそれほど高くないため、発根剤を使用する。
- セル成型苗は地床苗と比べて活着性に優れる。
- 赤葉枯病にはやや弱いので注意する。
- アントシアニンの含有量を確保するためには被覆しない。

## 加工上の留意点

- 茶葉が緑茶に混ざると水色が紅くなる恐れがあり、異物混入の誤解を生じる可能性があるため、緑茶製造と機械を共有する場合は十分に清掃する。

「サンルージュ」  
育成論文

# さえみどり

一番茶の新葉が明るい緑で美しく、色沢が鮮緑で特に優れることから「さえみどり」（冴え緑）と命名された。

来歴：やぶきた（♀）× あさつゆ（♂）

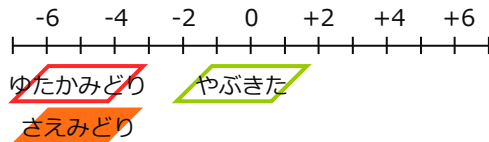
育成地：農研機構（枕崎）

1991年11月 品種登録

品種登録番号：2881（一般品種）

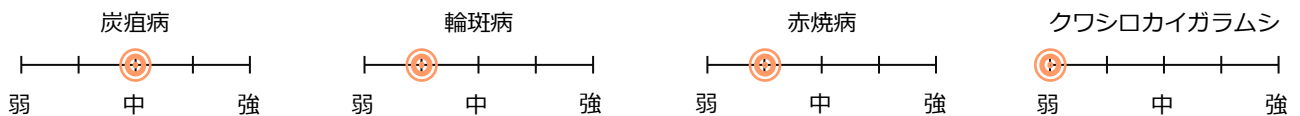
## 品種の特性

- 暖地・温暖地での栽培に適する。
- 摘採期は「やぶきた」より4～7日早い。



- 樹姿は“中間型”で、樹勢は「やぶきた」並である。
- 収量は「やぶきた」と同程度である。
- 炭疽病には中程度の抵抗性があるが、輪斑病の発病が認められる。

### 病害虫抵抗性



- 製茶品質は一番茶、二番茶ともに「やぶきた」よりも優れ、特に色沢・滋味が優れる。
- 被覆適性があり、玉露、かぶせ茶に向いている。
- フラボノール的一种であるケルセチンの含有量が多い。

## 栽培上の留意点

- 晩霜害を受けやすいため十分な防霜対策が必要である。
- 幼木期は強風で落葉しやすく生育が悪くなることもあるため、十分な管理が必要である。
- 成木になると葉がやや小さくなるため、適切な整剪枝が必要である。
- 被覆を強くしすぎると樹勢が低下しやすい。
- ケルセチン含有量を確保するためには被覆しない。

## 加工上の留意点

- 葉肉が薄いので蒸しがりやすい。
- 葉肉が薄いので生葉投入量はやや多めにした方が良い。

「さえみどり」  
ケルセチン情報



「さえみどり」  
育成論文



来歴：さやまかおり（♀）× 宮崎8号（♂）

育成地：宮崎県

2009年2月 品種登録

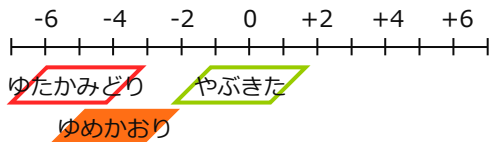
品種登録番号：17252

種苗の海外持出：禁止

自家増殖の許諾：不要

## 品種の特性

- 暖地・温暖地での栽培に適する。
- 摘採期は「やぶきた」より3～4日早い。



- 樹姿は“中間型”で、樹勢は「やぶきた」より強い。
- 収量は一番茶では「やぶきた」と同等か2～3割多く、二番茶では「やぶきた」より3割程度多い。
- クワシロカイガラムシと輪斑病に対する抵抗性は「さやまかおり」並に強いが、炭疽病は「やぶきた」並に発生する。

### 病虫害抵抗性



- 製茶品質は一番茶、二番茶ともに「やぶきた」と同等であり、萎凋させると良好な花香を発する。

## 栽培上の留意点

- “やや早生” 品種であるため晩霜害を受けることがある。
- 炭疽病、もち病に対しては防除が必要である。
- 幼木期の収量はやや少なくなる場合がある。

## 加工上の留意点

- 萎凋させて半発酵茶として利用できる。

「ゆめかおり」  
育成論文



来歴：茶本F<sub>1</sub>NN27（♀）× ME52（♂）

育成地：宮崎県

2006年2月 品種登録

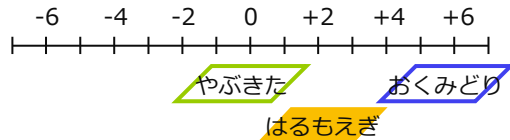
品種登録番号：13755

種苗の海外持出：禁止

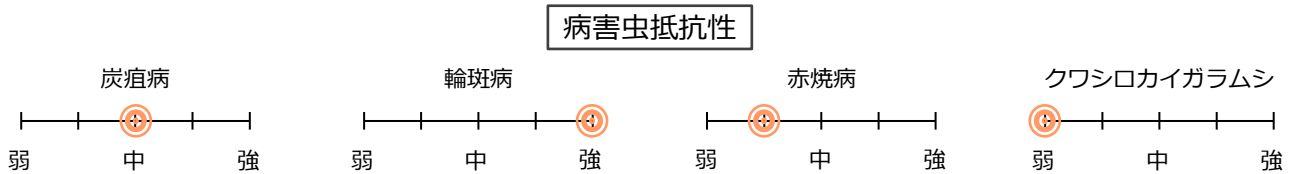
自家増殖の許諾：不要

## 品種の特性

- 全国的に栽培は可能であるが、収量・品質ともに暖地での評価が高い。
- 摘採期は「やぶきた」より2～3日ほど遅い。



- 樹姿は“直立型”で、樹勢は「やぶきた」と同等かやや劣る。
- 収量は地域差があるが「やぶきた」並である。
- 輪斑病に対しては強い抵抗性を持ち、炭疽病に対しては中程度の抵抗性があるが、クワシロカイガラムシは「やぶきた」並に発生する。



- 製茶品質は色沢が優れ、香気は温和で滋味はまろやかである。

## 栽培上の留意点

- 複条で定植して株張りを確保する必要がある。
- クワシロカイガラムシ、赤焼病、もち病、網もち病に対しては防除が必要である。
- 炭疽病に対しては多発地帯では防除が必要となる。

## 加工上の留意点

- 葉厚がやや薄いため、粗揉で葉が切れることがあるので、風量や回転数を落とすなどの工夫が必要となることもある。

「はるもえぎ」  
育成論文



# きらり31

登録品種  
PVP

太陽(3)の光をいっぱい(1)浴びて育ち、きらりと光る良質なお茶が全国で作られることを期待して「きらり31」と命名された。

来歴：さきみどり(♀) × さえみどり(♂)

育成地：宮崎県

2016年3月 品種登録

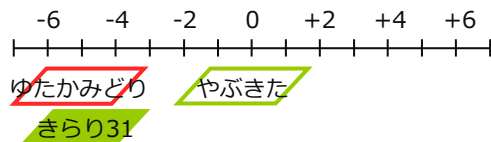
品種登録番号：25105

種苗の海外持出：禁止

自家増殖の許諾：不要

## 品種の特性

- 全国的に栽培が可能である。
- 摘採期は「やぶきた」より3~5日早い。



- 樹姿は“中間型”で、樹勢は「やぶきた」より強い。
- 収量は一番茶、二番茶ともに「やぶきた」より多く、条件の良い地域では「やぶきた」より5割程度多い。
- 輪斑病に対する抵抗性は強いが、炭疽病とクワシロカイガラムシには弱い。

### 病害虫抵抗性



- アミノ酸含有率が高く、色沢が優れ、温かな香味で「さえみどり」並に良質である。
- 成葉の赤枯れ、青枯れ、越冬芽の凍害に対しては「やぶきた」、「さえみどり」より強く、裂傷型凍害にも強い。

## 栽培上の留意点

- 赤焼病にはやや弱く、もち病、炭疽病に対する抵抗性は弱いため、これらの病害の発生する地域では防除が必要である。
- “早生”品種であるが越冬芽の耐寒性が高いため、防霜施設の整った全国の茶産地で栽培できる。

## 加工上の留意点

- 被覆により品質が向上し、かぶせ茶や玉露としても高品質な茶が生産できる。

「きらり31」  
育成論文



来歴：ふうしゅん（♀）× さえみどり（♂）

育成地：農研機構（枕崎）

2020年3月 品種登録

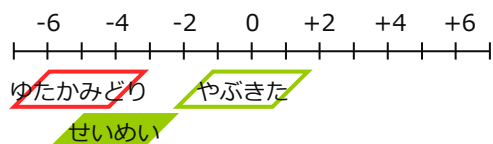
品種登録番号：27874

種苗の海外持出：禁止

自家増殖の許諾：必要（無償）

## 品種の特性

- 関東以南の栽培に適している。
- 摘採期は「やぶきた」より4日程度早い（育成地）。



- 樹姿は“やや直立型”で、樹勢は「やぶきた」よりやや強い。
- 収量は全茶期を通じて「やぶきた」、「さえみどり」より多い。
- 炭疽病、輪斑病、赤焼病に対しては中程度以上の抵抗性が認められる。

### 病虫害抵抗性



- 新芽は鮮緑で被覆適性を有するため、てん茶、玉露、かぶせ茶の製造に適する。
- 近年国内外で需要が急増している抹茶・粉まつ茶の原料としてのてん茶・もが茶の製造に適する。

## 栽培上の留意点

- 寒冷地では幼木期の防寒防風対策が必要である。
- “やや早生” 品種であるため、晩霜害が起こる地域では防霜が必要である。
- 寒冷地での摘採期は「やぶきた」と同等あるいは1日程度遅い。
- 通常の栽培では炭疽病の発病は少なく、秋冬番茶の防除は銅水和剤で対処できる。

## 加工上の留意点

- 煎茶の場合、茶葉は薄いが下位葉の幅が広いいため精揉時に注意する。
- 粗揉機では底だまりしやすいため、生葉の投入量はやや多めにした方が良い。

「せいめい」  
育成論文



栽培・加工技術SOP  
(標準作業手順書)





# さえあかり

登録品種  
PVP

「さえみどり」から引き継いだ“冴えた明るい”色沢と水色を有し、夏の明るい陽射しの下でも高い品質を叶えられることから「さえあかり」と命名された。

来歴：Z1（♀）× さえみどり（♂）

育成地：農研機構（枕崎）

2012年11月 品種登録

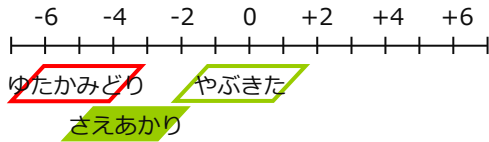
品種登録番号：22070

種苗の海外持出：禁止

自家増殖の許諾：必要（無償）

## 品種の特性

- 全国的に栽培が可能である。
- 摘採期は「やぶきた」より3~4日早い。



- 樹姿は“やや開張型”で、樹勢は「やぶきた」より強い。
- 収量は一番茶、二番茶とも「やぶきた」より多い。
- 炭疽病、輪斑病、赤焼病に対しては“やや強”以上の抵抗性がある。

### 病害虫抵抗性



- 冴えた明るい色沢と水色で「さえみどり」に似た香味が製茶品質の特徴である。
- 赤枯れに対しては中程度、裂傷型凍害に対してはやや強い抵抗性がある。
- 夏茶も優れた製茶品質である。

## 栽培上の留意点

- もち病、クワシロカイガラムシにはやや弱いので、それらの病害虫の発生する地域では防除を必要とする。
- 定植初年度は地上部の生育が根の発育より旺盛なため、夏季の水管理に注意する。
- 被覆適性があり、かぶせ茶、玉露、てん茶の製造に適する。

## 加工上の留意点

- 摘採初年度は葉厚が厚く蒸しを通りにくいが、徐々に葉肉が薄くなり蒸しを通りやすくなる。
- 粗揉機では底だまりしやすいため、生葉の投入量はやや多めにした方がよい。

「さえあかり」  
育成論文



来歴：茶本F<sub>1</sub>NN27（♀）× ME52（♂）

育成地：宮崎県

2001年8月 品種登録

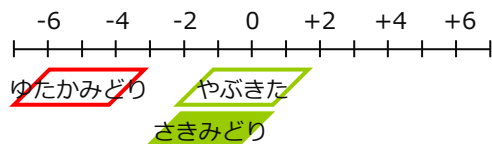
品種登録番号：9203

種苗の海外持出：禁止

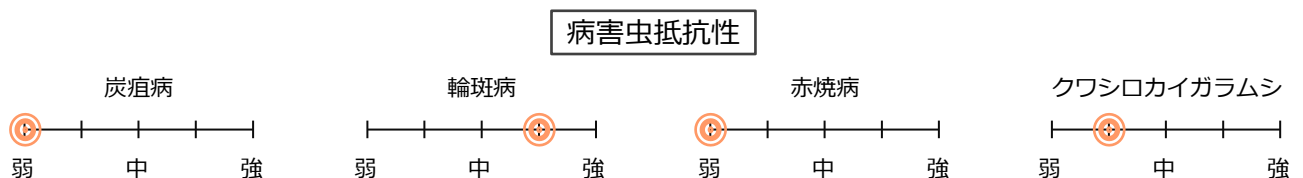
自家増殖の許諾：不要

## 品種の特性

- 全国的に栽培が可能である。
- 摘採期は「やぶきた」と同じか2日ほど早い。



- 樹姿は“中間型”で、樹勢は「やぶきた」より強い。
- 収量は一番茶、二番茶とも「やぶきた」より2～4割多い。
- 輪斑病に対してはやや強い抵抗性がある。



- 製茶品質は香味が温和でくせがなく、早摘みしても鮮やかな緑色の色沢が特徴である。
- 赤枯れ、裂傷型凍害に対しては「さやまかおり」と同程度に強い。

## 栽培上の留意点

- 葉層が薄くなることがあるため、整剪枝には注意が必要である。
- 樹勢が強いため、クワシロカイガラムシ、炭疽病に対する被害は軽減されるが、発生する地域では防除が必要である。
- 赤焼病にも弱いため防除が必要である。
- 幼木時には枝条が横に流れることがあるが、生長するにつれ目立たなくなる。

## 加工上の留意点

- 葉幅が広い大きめの葉であり、鮮やかな緑色の特徴を生かすためにも摘み遅れないよう注意が必要である。

「さきみどり」  
育成論文



# かなえまる

NEW!! 登録品種  
PVP

水色が黄金色で、満面の笑みがこぼれるようなお茶になってほしいと願い、その願いが叶えば、という希望も込めて命名された。

来歴：金F183（♀）× 金谷13号（♂）

育成地：農研機構（金谷）

2022年3月 品種登録

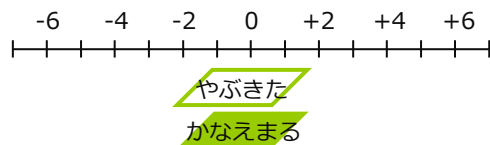
品種登録番号：28987

種苗の海外持出：禁止

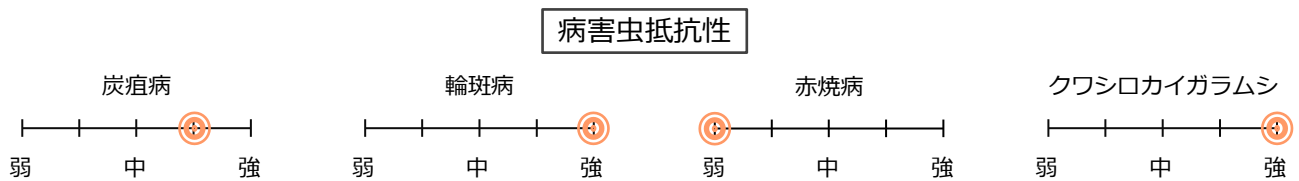
自家増殖の許諾：必要（無償）

## 品種の特性

- 全国的に栽培が可能である。
- 摘採期は「やぶきた」と同等で“中生”である。



- 樹姿は“やや開張型”であり、樹勢は「やぶきた」よりやや強い。
- 収量は一番茶、二番茶とも「やぶきた」より3割以上多い多収品種である。
- クワシロカイガラムシに対しては強い抵抗性がある。



- 製茶品質は香味が温和でくせがなく「やぶきた」よりも優れる。
- もち病抵抗性は“強”であり、青枯れ、赤枯れに対しても「やぶきた」より強い。

## 栽培上の留意点

- 挿し木苗が小さく、定植初年度は生育がやや緩慢であるため、幼木期の栽培管理を適切に行う。
- 新芽数は多いが、新芽長や新葉はやや小さいので、少し高めに整枝する。
- 赤焼病の多発地域では防除が必要である。
- 被覆による生育程度の低下が小さいため、玉露やかぶせ茶の製造に適している。

## 加工上の留意点

- 一番茶は形状を作りやすく、つやも出しやすい。
- 茎が柔らかいので、蒸し度を手触りで確認する際は留意が必要である。

来歴：さえみどり（♀）× ゆめかおり（♂）

育成地：宮崎県

2021年1月 品種登録

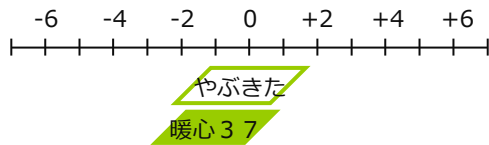
品種登録番号：28265

種苗の海外持出：禁止

自家増殖の許諾：不要

## 品種の特性

- 全国的に栽培が可能である。
- 摘採期は「やぶきた」より1日早い“中生”である。



- 樹姿は“やや直立”、新芽はやや小さい“芽数型”で、芽揃いは「やぶきた」、「さえみどり」より良い。
- 収量は一番茶、二番茶ともに「やぶきた」、「さえみどり」より多い。
- 炭疽病に対しては“強”、輪斑病に対しては“やや強”、クワシロカイガラムシに対しては“強”の抵抗性を有する。

### 病害虫抵抗性



- 煎茶や釜炒り茶として、色沢、香気、滋味が「やぶきた」、「さえみどり」より優れる。
- 一番茶、二番茶ともに遊離アミノ酸含量は「やぶきた」より高く、タンニンは少ない。

## 栽培上の留意点

- 炭疽病、輪斑病、クワシロカイガラムシに強く、これらの防除は必要なく、減農薬栽培に適している。
- ただし、もち病と赤焼病には弱いので常発地域では防除が必要である。
- 寒干害（青枯れ）には「やぶきた」より弱いので注意が必要である。

## 加工上の留意点

- 煎茶や釜炒り茶としての加工適性に優れる。

# べにふうき

紅茶や半発酵茶の紅い水色をイメージし、  
香気と滋味が豊かであるという意味から  
「べにふうき」（紅富貴）と命名された。

来歴：べにほまれ（♀）×枕Cd86（♂）

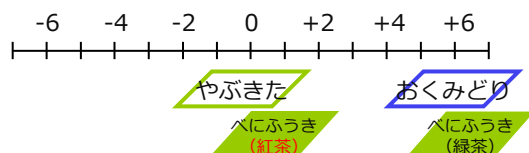
育成地：農研機構（枕崎）

1995年8月 品種登録

品種登録番号：4591（一般品種）

## 品種の特性

- 全国的に栽培が可能である。
- 紅茶としての摘採期は「やぶきた」より1~2日遅く、  
緑茶としての摘採期は「おくみどり」より1日ほど遅い。



- 樹姿は“開張型”で、樹勢は「やぶきた」より強い。
- 収量は「やぶきた」より3~5割多い。
- 炭疽病、輪斑病、赤焼病に対して強い抵抗性を有する。

### 病虫害抵抗性



- 紅茶、半発酵茶の品質は極めて良好である。
- 緑茶として製茶した場合に含量が高いメチル化カテキンは、ハウスダストやほこりなどによる目や鼻の不快感を軽減することが報告されている。

## 栽培上の留意点

- 幼木期は裂傷型凍害が発生しやすいので注意する。
- クワシロカイガラムシ、もち病には弱いので発生地域では防除が必要である。
- 若い芽はメチル化カテキン含量が少ないため、メチル化カテキン含量を確保するためには若芽摘みは避ける。

## 加工上の留意点

- メチル化カテキンは半発酵茶にした場合は減少し、紅茶にした場合にはほとんど含まれない。

「べにふうき」  
研究情報



「べにふうき」  
育成論文



# なごみゆたか

登録品種  
PVP

リラックス効果があるとされるテアニンが豊富で、甘い香りとともに心がなごむことを期待して「なごみゆたか」（和み豊）と命名された。

来歴：埼玉16号（♀）× 福8（♂）

育成地：宮崎県

2012年11月 品種登録

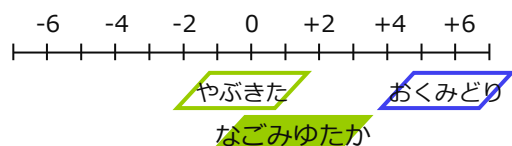
品種登録番号：22071

種苗の海外持出：禁止

自家増殖の許諾：不要

## 品種の特性

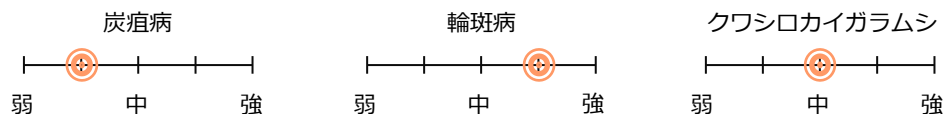
- 全国的に栽培が可能である。
- 摘採期は「やぶきた」より1~2日遅い。



- 樹姿は“やや直立型”で、樹勢は「やぶきた」並である。
- 収量は一番茶、二番茶ともに「やぶきた」より1~3割多い。
- 輪斑病に対する抵抗性はやや強く、炭疽病に対してはやや弱い。



### 病虫害抵抗性



- 製茶品質は釜炒り茶・煎茶ともに「やぶきた」より優れ、特に釜炒り茶にすると甘い香りとすっきりとした喉ごしが感じられる。

## 栽培上の留意点

- 炭疽病、もち病、クワシロカイガラムシの発生地域では防除が必要である。
- 分枝数がやや少ないので、枝数を確保するような整枝を心がける。
- 炭疽病にやや弱いので、育苗中は落葉しないように徹底した防除が必要である。

## 加工上の留意点

- 萎凋させるとさらに花香が強くなる。

「なごみゆたか」  
育成論文



来歴：ほうりよく（♀）× やぶきた（♂）

育成地：農研機構（金谷）

2001年8月 品種登録

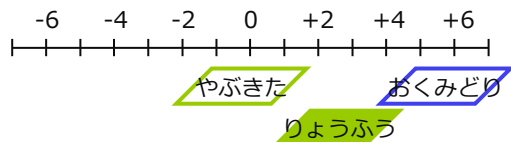
品種登録番号：9204

種苗の海外持出：禁止

自家増殖の許諾：必要（無償）

## 品種の特性

- 全国的に栽培が可能である。
- 摘採期は「やぶきた」より2～4日遅い。



- 樹姿は“やや直立型”で、樹勢は「やぶきた」よりやや強い。
- 収量は一番茶、二番茶ともに「やぶきた」と同程度か1～2割多くなる。
- 炭疽病、輪斑病、赤焼病に対しては中程度以上の抵抗性がある。

### 病害虫抵抗性



- 製茶品質は良好で、特に色沢が優れる。

## 栽培上の留意点

- クワシロカイガラムシに対しては弱く、もち病に対してはやや弱いため、これらの発生地域では防除が必要である。
- 裂傷型凍害は「やぶきた」並に発生するので注意が必要である。
- 芽数が少なくなる傾向があるため、やや深めに整枝する。
- 出開きにくい特性があるため、出開き度で適採期を判断すると摘み遅れの原因になる。

## 加工上の留意点

- 渋みや苦味が出やすいため、粗揉のバネ圧を下げたり、出し遅れないようにするなどの工夫が必要になる。
- さっぱりした香気が特徴であり、その評価が分かれることもある。

「りょうふう」  
育成論文



# みなみさやか

宮崎で育成され、温暖地向きであることと爽やかな香気をもつことに因んで「みなみさやか」（南爽）と命名された。

来歴：宮A6（♀）×茶本F<sub>1</sub>NN27（♂）

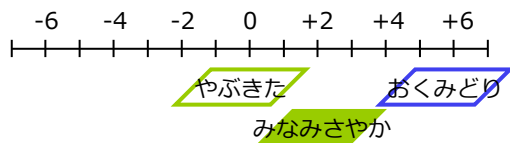
育成地：宮崎県

1994年3月 品種登録

品種登録番号：3932（一般品種）

## 品種の特性

- 全国的に栽培が可能である。
- 摘採期は「やぶきた」より1～3日遅い。
- 樹姿は“強い直立型”で、樹勢は「やぶきた」と同程度である。
- 収量は一番茶では「やぶきた」より1～2割多く、二番茶では「やぶきた」より3～4割多くなる。
- 挿し木苗は発根性、苗の生育とも良い。
- 炭疽病、輪斑病、クワシロカイガラムシに対して強い抵抗性を有し、防除は不要。



### 病害虫抵抗性



- 製茶品質はミルクティーを想起させる花香とさっぱりした滋味が特徴。

## 栽培上の留意点

- 幼木時の剪枝は低めに行い、分枝を促す必要がある。
- 複条で定植して株張りを確保する必要がある。
- もち病、赤焼病は発生するため、多発地域では防除が必要である。
- 青枯れが発生した事例があるため、寒冷地での栽培には注意を要する。

## 加工上の留意点

- 熟度の割に芽が柔らかく、投入量が少ないと粗揉で底だまりすることがある。
- 蒸しが浅い方が独特の香気が強調される傾向がある。
- 芽重型なので摘み遅れに注意する。

「みなみさやか」  
育成論文





# はるのなごり

登録品種  
PVP

春を名残惜しむような時期の晩生の良質品種であることにちなんで「はるのなごり」（春の名残）と命名された。

来歴：埼玉1号（♀）× 宮崎8号（♂）

育成地：宮崎県

2012年11月 品種登録

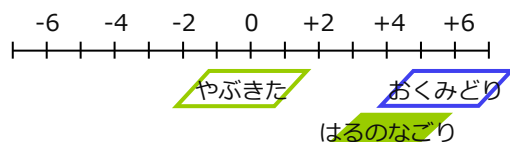
品種登録番号：22068

種苗の海外持出：禁止

自家増殖の許諾：不要

## 品種の特性

- 全国的に栽培が可能である。
- 摘採期は「やぶきた」より4日ほど遅く、「おくみどり」より1~2日早い。



- 樹姿は“やや開張型”で、樹勢は「やぶきた」より強い。
- 収量は一番茶、二番茶ともに「やぶきた」より3~4割多い。
- 炭疽病、輪斑病に対しては強いが、クワシロカイガラムシへの抵抗性は“中”である。

### 病虫害抵抗性



- 製茶品質は一番茶は「やぶきた」と同程度であるが、二番茶では「やぶきた」より優れる。

## 栽培上の留意点

- 赤枯れの被害は「やぶきた」並にであるので、寒冷地での栽培の際は注意が必要である。
- 裂傷型凍害抵抗性は、11月の初期段階では「やぶきた」より弱いので、被害が発生しやすい幼木期には肥培管理等に留意する必要がある。

## 加工上の留意点

- 芽や茎が大きく、“芽重型”になる傾向があるため、摘み遅れに注意する。「はるのなごり」育成論文
- 長時間の萎凋処理をすると強い萎凋香を発揚する。



来歴：京研283（♀）× 埼玉1号（♂）

育成地：宮崎県

2006年2月 年品種登録

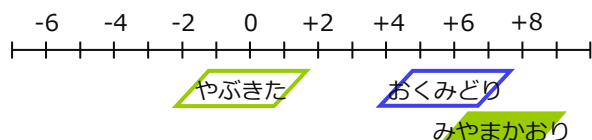
品種登録番号：13754

種苗の海外持出：禁止

自家増殖の許諾：不要

## 品種の特性

- 全国的に栽培が可能である。
- 摘採期は「やぶきた」より5～7日、「おくみどり」より1～2日遅い。



- 樹姿は“中間型”で、樹勢は「やぶきた」より強い。
- 収量は「やぶきた」より6～8割多くなる地域も見られる。
- 輪斑病に対しては“やや強”、炭疽病に対しては中程度の抵抗性があるが、クワシロカイガラムシに対しては“やや弱”である。

### 病害虫抵抗性



- 製茶品質は一番茶、二番茶とも「やぶきた」と同程度であるが、蒸したクリのような甘い香りが出ることがある。

## 栽培上の留意点

- 炭疽病、もち病、クワシロカイガラムシの発生する地域では防除が必要である。

## 加工上の留意点

- 摘み遅れると木茎が目立つので、ミル芽摘みまたは2段摘みなどの工夫が必要である。

「みやまかおり」  
育成論文



# おくはるか

登録品種  
PVP

晩生品種で春をイメージする桜のような香気を持つことから「おくはるか」(おく春香)と命名された。

来歴：埼玉20号(♀) × 埼玉7号(♂)

育成地：埼玉県

2015年3月 品種登録

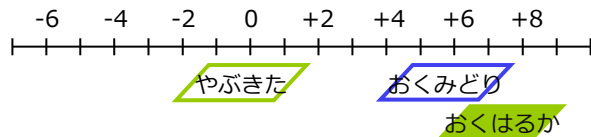
品種登録番号：23946

種苗の海外持出：禁止

自家増殖の許諾：不要

## 品種の特性

- 全国的に栽培が可能である。
- 摘採期は「やぶきた」より6~10日遅く、「おくみどり」より1~2日遅い。



- 樹姿は“やや開張型”で、樹勢は「やぶきた」より強い。
- 収量は一番茶、二番茶ともに「やぶきた」より1~3割多く、安定している。
- 輪斑病に対しては強い抵抗性があるが、クワシロカイガラムシに対しては弱い。

### 病害虫抵抗性



- 耐寒性は「やぶきた」より強く、ほ場における青枯れ、赤枯れの被害はほとんどない。
- 裂傷型凍害に対しても強い抵抗性がある。
- 製茶品質は良好で、特に、独特の桜葉様の香気が高く評価される。

## 栽培上の留意点

- 赤焼病には中程度の抵抗性があるが、もち病にはやや弱であるため、適宜防除する。
- 樹勢が強いため、クワシロカイガラムシ、炭疽病に対する被害は軽減されるが、発生地域では防除が必要である。
- 晩夏から晩秋にかけて生育が旺盛で、枝条が過繁茂になることがあるため、整枝管理に注意する。

## 加工上の留意点

- 特徴的な香気を活かすためには蒸熱時間を長くしない方が良い。

「おくはるか」  
育成論文



# ふうしゅん

新春の満ち足りた香味にちなみ、多収性を活かして茶業を豊に富ませる品種になるように、との願いを込めて「ふうしゅん」（富春）と命名された。

来歴：Z1（♀）× かなやみどり（♂）

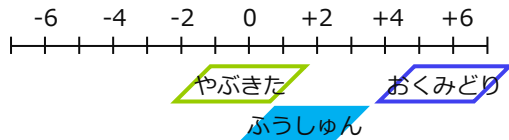
育成地：農研機構（金谷）

1993年10月 品種登録

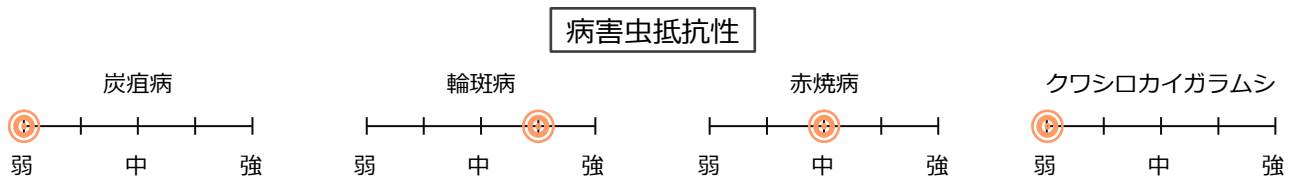
品種登録番号：3697（一般品種）

## 品種の特性

- 全国的に栽培が可能であり、冷涼地や土壌条件のよくない地域での評価が高い。
- 摘採期は「やぶきた」より1～3日遅い。



- 樹姿は“直立型”で、樹勢は「やぶきた」より強い。
- 収量は一番茶、二番茶ともに「やぶきた」より3～5割多くなる。
- 輪斑病、赤焼病に対しては中程度以上の抵抗性があるが、炭疽病とクワシロカイガラムシに対しては弱い。



## 栽培上の留意点

- 直立性の樹姿であるため幼木時の剪枝は低めに行い、分枝を促す必要がある。
- 病害虫に対しては樹勢が強いため問題にならないことが多いが、炭疽病およびクワシロカイガラムシに対しては多発地帯では防除が必要である。

## 加工上の留意点

- 摘み遅れると形状が整いにくくなるため、若芽摘みを心がける。
- 色沢が黒みを帯びがちなので、蒸しを深くするなどの工夫が必要である。

「ふうしゅん」  
育成論文



# むさしかおり

登録品種  
PVP

埼玉県（武蔵の国）で育成され、香りの優れた品種であることから「むさしかおり」と命名された。

来歴：やぶきた（♀）× 埼27F<sub>1</sub>-73（♂）

育成地：埼玉県

2001年10月 品種登録

品種登録番号：9306

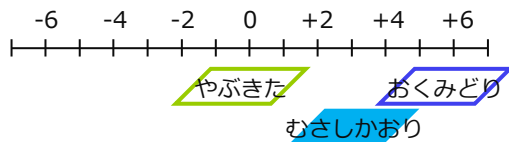
種苗の海外持出：禁止

自家増殖の許諾：不要

## 品種の特性

- 全国的に栽培が可能であり、特に冷涼地での評価が高い。

- 適採期は「やぶきた」より2~4日遅い。



- 樹姿は“開張型”で、樹勢は「やぶきた」並である。

- 収量は一番茶は「やぶきた」並で、二番茶は「やぶきた」並かやや多い。

- 成葉・新葉ともに「やぶきた」よりやや小さい。

- 輪斑病にやや強い抵抗性を持つ。

### 病害虫抵抗性



- 製茶品質は「やぶきた」と同等で、特に外観と滋味が優れる。

## 栽培上の留意点

- もち病にはやや弱いため、防除が必要である。
- 炭疽病、クワシロカイガラムシに対しては発生地域では防除が必要である。
- 摘採芽が小さく芽数型になりやすいため、深刈りなどの更新処理を適宜行う必要がある。

## 加工上の留意点

- 深蒸しにすると品種の特性である特徴ある香気が失われる。

「むさしかおり」  
育成論文



来歴：かなやみどり（♀）× やぶきた（♂）

育成地：農研機構（枕崎）

2003年3月 品種登録

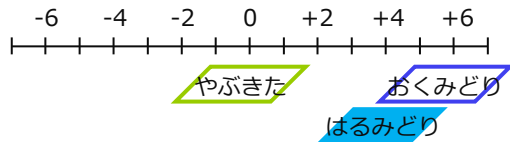
品種登録番号：11102

種苗の海外持出：禁止

自家増殖の許諾：要（無償）

## 品種の特性

- 全国的に栽培が可能であり、特に冷涼地での評価が高い。
- 摘採期は「やぶきた」より3～5日遅い。



- 樹姿は“やや開張型”で、樹勢は「やぶきた」並である。
- 収量は「やぶきた」と同等か1～2割多い。
- 裂傷型凍害への抵抗性は強く、耐寒性は「かなやみどり」と同等の耐寒性を持つ。
- クワシロカイガラムシ、炭疽病、輪斑病に対する抵抗性はいずれも弱い。

### 病虫害抵抗性



- 製茶品質は「やぶきた」より良く、特に滋味は優れる。

## 栽培上の留意点

- 初期生育が緩慢なため二年生苗を定植し、幼木期の肥培管理を十分に行う必要がある。
- 重粘土壌では生育が抑制されることがあるため、定植前に土壌改良が必要である。
- もち病に対しては中程度の抵抗性があるが、多くの病害虫に対して抵抗性が低いため、それらの発生する地域では防除が必須である。
- 秋芽の生育停止が早いので、年3回以上の摘採は避ける。

## 加工上の留意点

- 早摘みすると特徴的な香りが出やすい。

「はるみどり」  
育成論文



# さいのみどり

登録品種  
PVP

新芽が美しく、彩り豊かに緑の映える茶であることから「さいのみどり」（彩の緑）と命名された。

来歴：さやまかおり自然交雑

育成地：埼玉県

2006年2月 品種登録

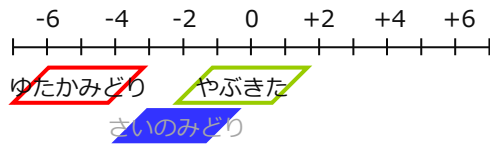
品種登録番号：13753

種苗の海外持出：禁止

自家増殖の許諾：不要

## 品種の特性

- 冷涼地での栽培に適する。
- 摘採期は「やぶきた」より1~3日早い。



- 樹姿は“中間型”で、樹勢は「やぶきた」並である。
- 耐寒性は「やぶきた」と同等である。
- 収量は、一番茶、二番茶とも「やぶきた」より多く、「さやまかおり」より少ない。
- 新芽の芽揃いがよい。
- 輪斑病に対しては強い。

### 病害虫抵抗性



- 製茶品質は「やぶきた」と同等である。

## 栽培上の留意点

- “やや早生” 品種であるため、晩霜害の出やすい地域では対策が必要である。
- 炭疽病に対しては多発地域では防除が必要である。
- 分枝数が多いため芽数型になりやすい。

## 加工上の留意点

- 形状は細くよれやすいが、色沢はやや黒みを帯びやすい。

「さいのみどり」  
育成論文



来歴：やぶきた（♀）× 埼玉9号（♂）

育成地：埼玉県

2008年10月 品種登録

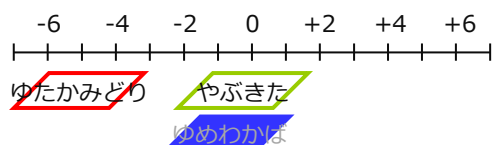
品種登録番号：17051

種苗の海外持出：禁止

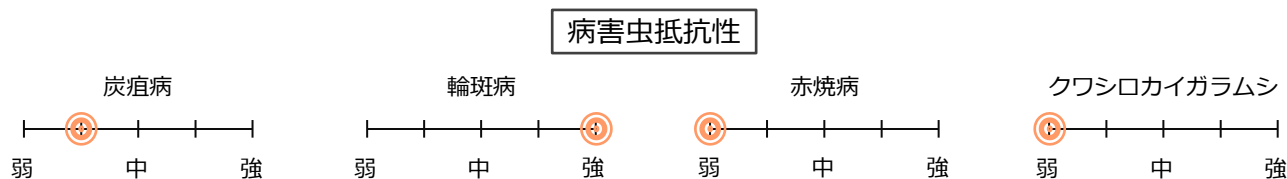
自家増殖の許諾：不要

## 品種の特性

- 冷涼地での栽培に適する。
- 摘採期は「やぶきた」とほぼ同じである。



- 樹姿は“直立型”で、樹勢は「やぶきた」並である。
- 収量は一番茶、二番茶ともに「やぶきた」並である。
- 赤枯れ、裂傷型凍害に対する抵抗性が強く、青枯れに対する抵抗性もやや強である。
- 輪斑病に対する抵抗性は強い。



- 製茶品質は「やぶきた」と同等で、形状・色沢は優れる。
- 生葉を軽く萎凋させることによりモクセイ様の香気が発揚し、滋味も高まる。

## 栽培上の留意点

- 初期生育は緩慢であるため、幼木期の管理はこまめに行う必要がある。
- 樹姿が“直立型”であるため、密植により早期成園化をはかる必要がある。
- クワシロカイガラムシ、もち病、炭疽病に対しては発生地域では防除が必要である。

## 加工上の留意点

- 生葉を強く萎凋させることによりモクセイ様の香味が助長されるため、発酵茶や半発酵茶に適している。

「ゆめわかば」  
育成論文





# ほくめい

強い耐寒性を有することから、茶栽培の北限で普及してほしいという願いを込めて「ほくめい」と命名された。

来歴：さやまみどり（♀）× 埼玉13号（♂）

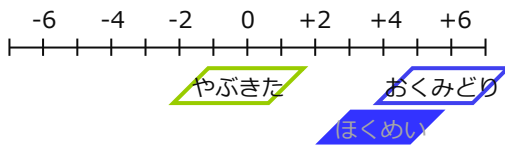
育成地：埼玉県

1995年11月 品種登録

品種登録番号：4775（一般品種）

## 品種の特性

- 冷涼地での栽培に適する。
- 摘採期は「やぶきた」より3～5日遅い。



- 樹姿は“直立型”で、樹勢は「やぶきた」よりやや強い。
- 収量は一番茶、二番茶とも「やぶきた」より多く、「さやまかおり」並に多収である。
- 青枯れ、赤枯れに対しては「やぶきた」より強い。
- 炭疽病、輪斑病、クワシロカイガラムシに対する抵抗性はいずれも「やぶきた」と同等で弱い。

### 病害虫抵抗性



- 製茶品質は「やぶきた」並で、さわやかな香気と澄んだ水色が特徴。

## 栽培上の留意点

- 複条で定植して株張りを確保した方が良い。
- 初期生育はやや緩慢であるため、幼木期は十分な管理を必要とする。
- クワシロカイガラムシ、炭疽病、輪斑病の抵抗性はいずれも弱いので、これらの発生地域では防除が必要である。

## 加工上の留意点

- 葉肉がやや厚いので摘み遅れると形状が整いにくくなる。

「ほくめい」  
育成論文





# 登録品種の苗の入手・取り扱いについて

## <種苗法と利用許諾>

育成者権のある品種（登録品種）は種苗法により権利が保護されており、登録品種の種苗を生産して販売する行為は育成者が利用を許諾した団体あるいは個人においてのみ許可されています。種苗の注文については、許諾を受けた団体あるいは個人（47、48ページ）へお問い合わせください。

下記の育成場所においても種苗に関する情報提供を行っています。

- 埼玉県農林部生産振興課 Tel：048-830-4146
- 宮崎県農政水産部農政企画課 Tel：0985-26-7426

育成者の許諾を受けずに無断で登録品種の種苗を増殖して譲渡・販売すると違法行為にあたり、個人に対しては10年以下の懲役、1,000万円以下の罰金あるいはそれらの併科（第四章第六十七条）が、法人に対しては3億円以下の罰金刑（第四章第七十三条）が科せられます。許諾を受けていない団体あるいは個人から入手した種苗に由来する茶を生産・販売することも違法です。

## <種苗法の改正により加わった新しいルール>

近年、品種の海外流出が日本の農業において大きな問題になっており、種苗流通の適正化を図ることを目的として種苗法が改正されました。

### ①海外への持ち出し制限

2021年4月1日より、登録品種の国内の栽培地域や輸出できる国を育成者が指定できるようになりました。本誌で紹介する登録品種はすべて、種苗の海外への持ち出しが禁止されています（国内の栽培地域の指定はありません）。

### ②「登録品種である旨」の表示の義務化

2021年4月1日より、登録品種の種苗を販売する際は、登録品種であることを表示することが義務化され、㊦～㊨の表示のいずれかを種苗または種苗の包装に付さなくてはなりません。販売の際に表示をしていない場合はそれ自体が違法になります。

- ㊦ 「登録品種」の文字
- ㊧ 「品種登録」の文字および品種登録番号
- ㊨ PVPマーク（PVP：Plant Variety Protection）

海外持出制限や国内栽培地域の制限がある場合にはその旨の表示が必要になります。

表示の例（㊧の場合）



### ③登録品種の自家増殖の許諾

2022年4月1日より、農業者が登録品種の種苗を自家用の栽培向けに増殖（自家増殖）を行う場合、育成者の許諾が必要になりました。農研機構の育成品種を自家増殖する際は以下の農研機構のサイトの「茶申請フォーム」から許諾申請の手続きを行ってください。茶の場合、自家増殖の許諾は無償で行っています。

本誌に掲載の宮崎県および埼玉県の登録品種については、各遵守事項を条件として自家増殖が認められるとともに、許諾の手続き及び許諾料は不要となっています。

農研機構の  
許諾申請サイト



宮崎県の登録品種  
の取り扱いについて  
（遵守事項）



埼玉県の登録品種  
の取り扱いについて  
（遵守事項）



# それぞれの品種の味の特徴について

茶は永年作物であり育成に長い年月がかかることや、日本は南北に長い地形で気象条件や茶の栽培方法が複雑多岐にわたることなど、茶の育種研究は多くの困難な条件を克服しながら行われてきました。また、現在の茶の流通においては、各産地の茶や茶期別に生産された茶のブレンドがなされることなどから、品種が単独で流通するには難しい状況があります。このような理由で、優良な品種が十分に普及していないのが実情です。

私たち日本茶業中央会は、消費者の視点からみた茶品種の特性（味、香り、色）を皆様に知っていただきたいと考え、日本茶インストラクター協会の協力の下、試飲調査を行いました。ぜひバラエティーに富んだお茶の特性をご覧ください、今後、お茶を品種で選ぶという選択肢を加えていただけますと幸いです。

2017年8月

公益社団法人 日本茶業中央会  
専務理事 柳澤 興一郎



試飲調査風景  
(日本茶インストラクター協会静岡県支部提供)

性別	男性 ・ 女性
年齢	10代未満、10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代、90代以上
出身県	
試飲したサンプルの番号	
試飲条件について	
茶葉の量	g
湯の量	ml
湯の温度	℃
試飲したサンプルについて	
茶葉の色	どちらかといえば 深緑色 ・ 鮮緑色
色の濃さ	1(薄い) ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5(濃い)
色の明るさ	1(明るい) ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5(暗い)
茶の水色	どちらかといえば 黄金色 ・ 緑色
色の濃さ	1(薄い) ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5(濃い)
色の明るさ	1(明るい) ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5(暗い)
茶の味(甘み)	ほとんど感じない・わずかに感じる・やや感じる・感じる・強く感じる
茶の味(うまみ)	ほとんど感じない・わずかに感じる・やや感じる・感じる・強く感じる
茶の味(渋み)	ほとんど感じない・わずかに感じる・やや感じる・感じる・強く感じる
茶の味(苦み)	ほとんど感じない・わずかに感じる・やや感じる・感じる・強く感じる
茶の香り	

\*感じたまに書いて下さい

アンケート調査用紙

## 🌿 品種茶サンプルについて

2014年に農研機構（枕崎茶業研究拠点、金谷茶業研究拠点）と埼玉県茶業研究所において、一番茶期、露地栽培、適期摘み、普通蒸しを条件に製茶した仕上げ茶サンプルを使用しました。

（茶の香味は栽培・加工方法、地域、淹れ方等の条件により変わります）

# 品種 (仕上茶)

品種	茶葉の色 (色沢)	浸出液の色 (水色)	茶の味 (滋味)
<p><b>さえみどり</b></p> <p>とろりとしたうま味を感じさせる香り</p>	<p><b>深緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>黄金色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>濃厚</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>うま味・甘味</p>
<p><b>ふうしゅん</b></p> <p>甘さを感じさせないずっしりした和の香り</p>	<p><b>深緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>黄金色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>バランス良</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>うま味・甘味</p>
<p><b>みなみさやか</b></p> <p>甘いミルクと果実を連想させる香り</p>	<p><b>深緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>黄金色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>やや濃厚</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>うま味・甘味</p>
<p><b>べにふうき</b></p> <p>中国茶にも似た深みのある独特の香り</p>	<p><b>深緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>黄金色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>ややスッキリ</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>うま味・甘味</p>
<p><b>ほくめい</b></p> <p>ウッディな中にスパイシーさが広がる香り</p>	<p><b>深緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>黄金色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>ややスッキリ</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>うま味・甘味</p>

# の味の特徴

品種	茶葉の色 (色沢)	浸出液の色 (水色)	茶の味 (滋味)
<p><b>さきみどり</b></p> <p>夏をイメージさせる 柑橘系の香り</p>	<p><b>深緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>黄金色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>バランス良</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>うま味・甘味</p>
<p><b>りょうふう</b></p> <p>ひなたをイメージさせる ほのかな香り</p>	<p><b>深緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>黄金色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>スッキリ</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>うま味・甘味</p>
<p><b>むさしかおり</b></p> <p>乳製品をイメージさせる 濃厚な香り</p>	<p><b>緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>緑色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>バランス良</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>うま味・甘味</p>
<p><b>はるみどり</b></p> <p>甘いミルクのような まろやかで優しい香り</p>	<p><b>鮮緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>緑色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>やや濃厚</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>うま味・甘味</p>
<p><b>そうふう</b></p> <p>ジャスミンの花のような エスニックな香り</p>	<p><b>緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>黄金色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>バランス良</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>うま味・甘味</p>

# 品種 (仕上茶)

品種	茶葉の色 (色沢)	浸出液の色 (水色)	茶の味 (滋味)
<p><b>はるもえぎ</b></p> <p>新茶らしい青々しさが奥ゆかしく感じられる香り</p>	<p><b>鮮緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>黄金色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>ややスッキリ</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>強</p> <p>うま味・甘味</p>
<p><b>みやまかおり</b></p> <p>ほのかな甘さを含んだ若草の香り</p>	<p><b>鮮緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>緑色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>やや濃厚</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>強</p> <p>うま味・甘味</p>
<p><b>さいのみどり</b></p> <p>清涼感のあるきりりとしたスパイシーな香り</p>	<p><b>深緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>黄金色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>濃厚系</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>強</p> <p>うま味・甘味</p>
<p><b>ゆめわかば</b></p> <p>ほのかに花を感じさせるすっきりした香り</p>	<p><b>深緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>緑色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>スッキリ</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>強</p> <p>うま味・甘味</p>
<p><b>ゆめかおり</b></p> <p>マイルドな甘味を含んだ青草の爽やかな香り</p>	<p><b>深緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>黄金色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>バランス良</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>強</p> <p>うま味・甘味</p>

# の味の特徴

品種	茶葉の色 (色沢)	浸出液の色 (水色)	茶の味 (滋味)
<p><b>しゅんたろう</b></p> <p>あっさりとした栗のような香り</p>	<p><b>鮮緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>黄金色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>バランス良</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>強</p> <p>うま味・甘味</p>
<p><b>さえあかり</b></p> <p>枝豆を想起させる濃厚な甘い香り</p>	<p><b>鮮緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>緑色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>濃厚</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>強</p> <p>うま味・甘味</p>
<p><b>はるのなごり</b></p> <p>クセのない素直な深緑の香り</p>	<p><b>鮮緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>黄金色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>ややスツキリ</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>強</p> <p>うま味・甘味</p>
<p><b>なごみゆたか</b></p> <p>若葉の香りの奥にモモのような甘さが広がる特徴的な香り</p>	<p><b>鮮緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>黄金色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>ややスツキリ</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>強</p> <p>うま味・甘味</p>
<p><b>なんめい</b></p> <p>ほのかな甘さの混じる清々しい若葉の香り</p>	<p><b>深緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>黄金色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p>	<p><b>濃厚系</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>強</p> <p>うま味・甘味</p>

# 品種 (仕上茶) の味の特徴

品種	茶葉の色 (色沢)	浸出液の色 (水色)	茶の味 (滋味)
<p><b>おくはるか</b></p> <p>桜餅を連想させる桜の葉の香りが特徴的</p>	<p><b>鮮緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p> <p>淡 濃</p> <p>暗</p>	<p><b>緑色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p> <p>淡 濃</p> <p>暗</p>	<p><b>バランス良</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>強</p> <p>弱 強</p> <p>弱 強</p> <p>うま味・甘味</p>

ご協力いただいた日本茶インストラクター協会のブロック・支部

- ・ 北海道ブロック
- ・ 宮城県支部
- ・ 群馬県支部
- ・ 千葉県支部
- ・ 埼玉県支部
- ・ 神奈川県支部
- ・ 静岡県支部
- ・ 東海ブロック
- ・ 岐阜県支部

# 育成者による品種 (仕上茶) の味の紹介

品種	茶葉の色 (色沢)	浸出液の色 (水色)	茶の味 (滋味)
<p><b>サンルージュ</b></p> <p>青みのある独特の香りとしっかりした苦味</p>	<p><b>黒み</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p> <p>淡 濃</p> <p>暗</p>	<p><b>紫色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p> <p>淡 濃</p> <p>暗</p>	<p><b>やや苦味</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>強</p> <p>弱 強</p> <p>弱 強</p> <p>うま味・甘味</p>
<p><b>きらり31</b></p> <p>さわやかな香りとバランスの良い味</p>	<p><b>濃鮮緑</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p> <p>淡 濃</p> <p>暗</p>	<p><b>緑色</b></p> <p>色の明るさ</p> <p>明</p> <p>色の濃さ</p> <p>淡 濃</p> <p>暗</p>	<p><b>バランス良</b></p> <p>渋味・苦味</p> <p>強</p> <p>弱 強</p> <p>弱 強</p> <p>うま味・甘味</p>



品種

茶葉の色  
(色沢)

浸出液の色  
(水色)

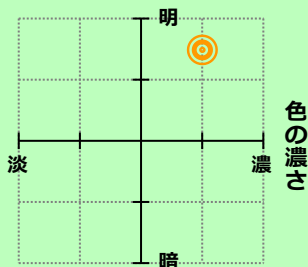
茶の味  
(滋味)

はると34

甘い香りと優しい味

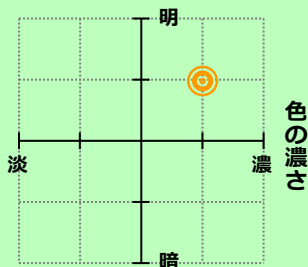
鮮緑

色の明るさ



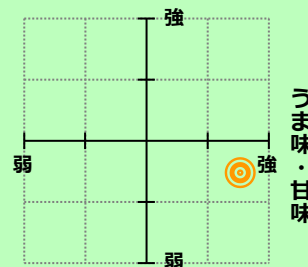
緑色

色の明るさ



やさしい甘味

渋味・苦味

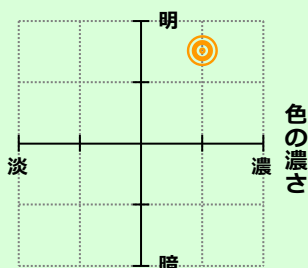


せいめい

甘いクリーミーな香りと強いうま味

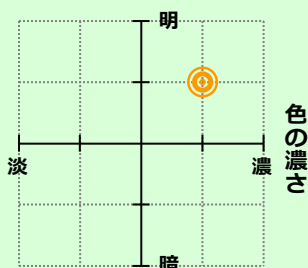
濃鮮緑

色の明るさ



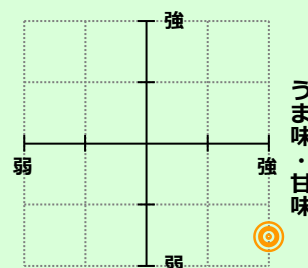
緑色

色の明るさ



うま味

渋味・苦味

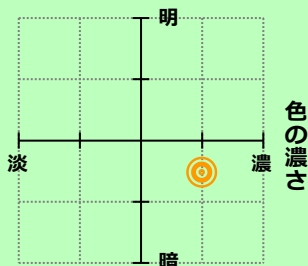


きよか

花のような香りとうま味の新しいハーモニー

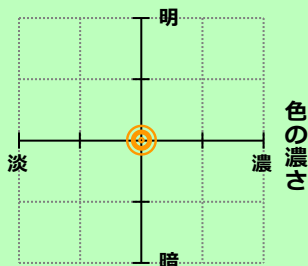
濃緑

色の明るさ



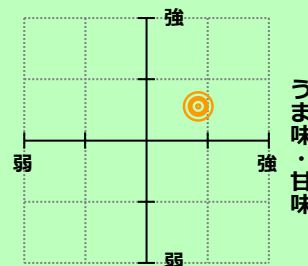
緑色

色の明るさ



花香とうま味

渋味・苦味

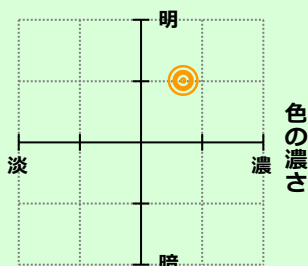


暖心37

奥深く濃厚な香りとバランスの良い味

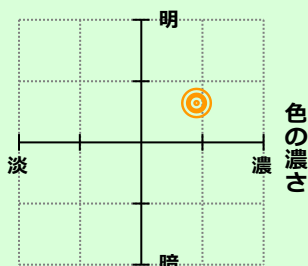
鮮緑

色の明るさ



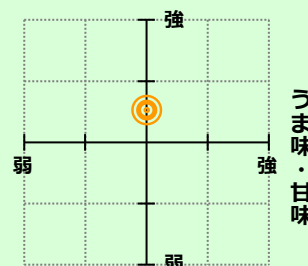
緑色

色の明るさ



バランス良

渋味・苦味

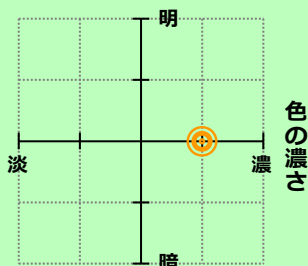


かなえまる

甘いクリーミーな香りとバランスの良いうま味

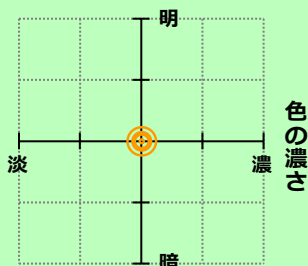
濃緑

色の明るさ



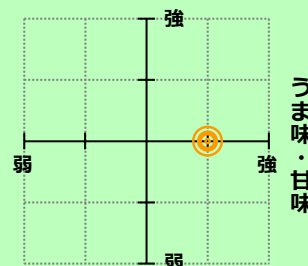
緑色

色の明るさ



バランス良

渋味・苦味



# 品種の煎茶見本



さえみどり



ふうしゅん



みなみさやか



べにふうき



ほくめい



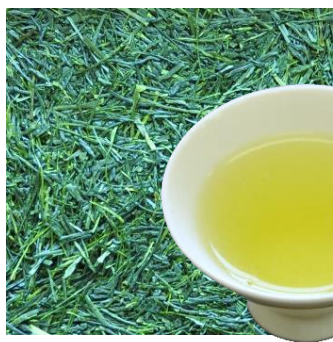
さきみどり



りょうふう



むさしかおり



はるみどり



そうふう



はるもえぎ



みやまかおり



さいのみどり



ゆめわかば



ゆめかおり



しゅんたろう



サンルージュ



さえあかり



はるのなごり



なごみゆたか



なんめい



おくはるか



きらり31



はると34



せいめい



きよか



暖心37



かなえまる

# 品 種

登録年月日  
育成機関  
登録番号

品 種

来 歴

1991年  
11月19日  
農研機構  
第2881号

さえみどり

やぶきた ♀  
静岡在来種実生  
1969年  
交配  
あさつゆ ♂  
宇治在来種実生

♀：種子親  
♂：花粉親

1993年  
10月13日  
農研機構  
第3697号

ふうしゅん

Z1 ♀  
国立茶業試験場育成  
1965年  
交配  
かなやみどり ♂  
国立茶業試験場育成  
たまみどり ♀  
宇治在来種実生  
自然交雑  
? ♂  
S6 ♀  
静岡在来種実生  
やぶきた ♂



1994年  
3月14日  
宮崎県  
第3932号

みなみさやか

宮A6 ♀  
宮崎県育成  
1970年  
交配  
茶本F1NN27 ♂  
国立茶業試験場育成  
たかちほ ♀  
宮崎在来種実生  
宮F1-9-4-48 ♂  
宮崎県育成  
やぶきた ♀  
静在16 ♂  
静岡在来種実生  
MAi23 ♀  
アッサム種  
MC3 ♂  
コーカサス種

1995年  
8月17日  
農研機構  
第4591号

べにふうき

べにほまれ ♀  
インドから導入した  
種子の実生選抜  
1965年  
交配  
枕Cd86 ♂  
ダーズリンからの導入種  
アッサム系 ♀  
自然交雑  
? ♂

1995年  
11月8日  
埼玉県  
第4775号

ほくめい

さやまみどり ♀  
宇治在来種実生  
1965年  
交配  
埼玉13号 ♂  
埼玉県育成  
やぶきた ♀  
自然交雑  
? ♂

# 来歴

登録年月日  
育成機関  
登録番号

品 種

来 歴

2001年  
8月16日  
宮崎県  
第9203号

さきみどり

茶本F<sub>1</sub>NN27 ♀  
国立茶業試験場育成

1979年  
交配

ME52 ♂  
宮崎県在来種

やぶきた ♀

静在16 ♂  
静岡県在来種実生

2001年  
8月16日  
農研機構  
第9204号

りょうふう

ほうりよく ♀  
静岡県育成

1972年  
交配

やぶきた ♂

アッサム系 ♀

自然交雑  
? ♂

2001年  
10月12日  
埼玉県  
第9306号

むさしかおり

やぶきた ♀

1967年  
交配

埼27F<sub>1</sub>-73 ♂  
埼玉県育成

さやまみどり ♀  
宇治在来種実生

硬枝紅心実生 ♂

硬枝紅心 ♀  
台湾の品種

自然交雑  
? ♂

2003年  
3月17日  
農研機構  
第11102号

はるみどり

かなやみどり ♀  
国立茶業試験場育成

1979年  
交配

やぶきた ♂

S6 ♀  
静岡在来種実生

やぶきた ♂

2005年  
2月7日  
農研機構  
第12706号

そうふう

やぶきた ♀

1977年  
交配

静印雑131 ♂  
インド導入系統の  
実生選抜

アッサム系 ♀

自然交雑  
? ♂

2006年  
2月27日  
宮崎県  
第13755号

はるもえぎ

茶本F<sub>1</sub>NN27 ♀  
国立茶業試験場育成

1981年  
交配

ME52 ♂  
宮崎県在来種

やぶきた ♀

静在16 ♂  
静岡在来種実生



# 品 種

登録年月日  
育成機関  
登録番号

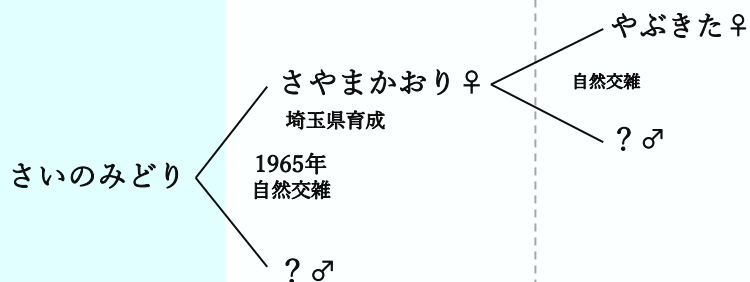
品 種

来 歴

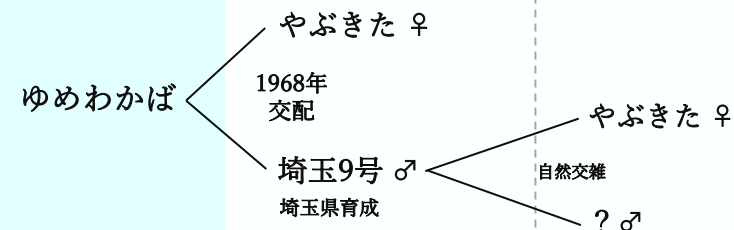
2006年  
2月27日  
宮崎県  
第13754号



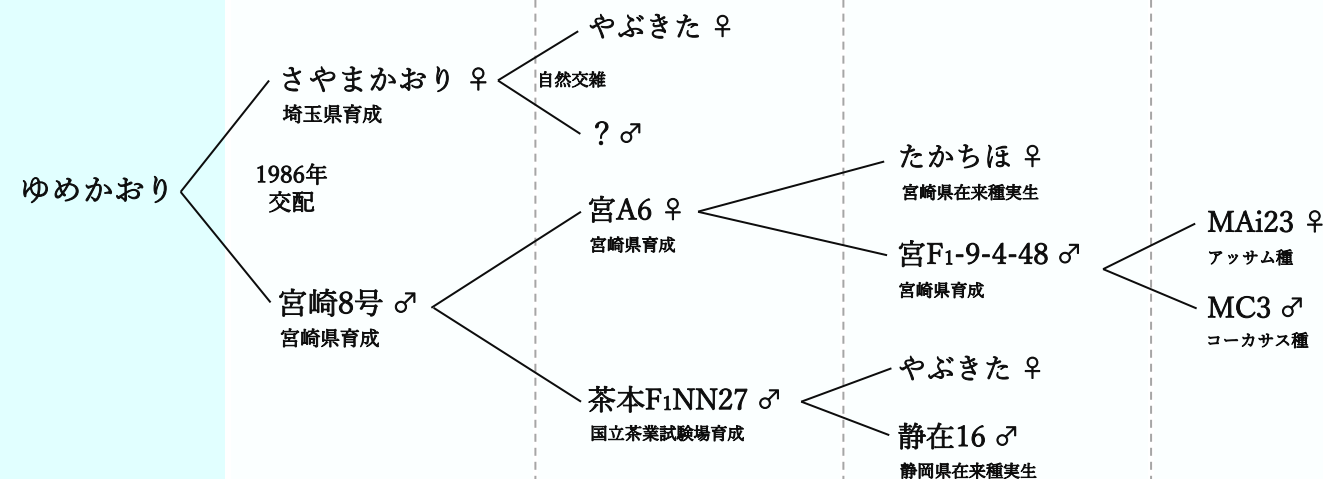
2006年  
2月27日  
埼玉県  
第13753号



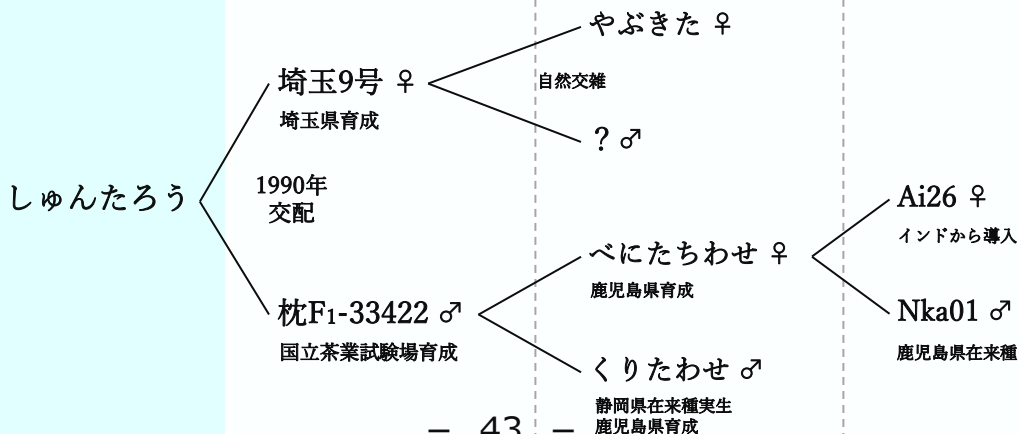
2008年  
10月16日  
埼玉県  
第17051号



2009年  
2月6日  
宮崎県  
第17252号



2011年  
12月20日  
農研機構  
第21261号

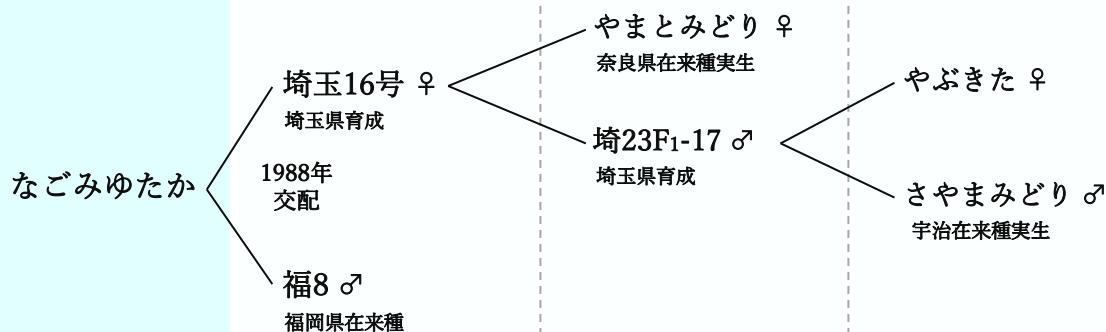
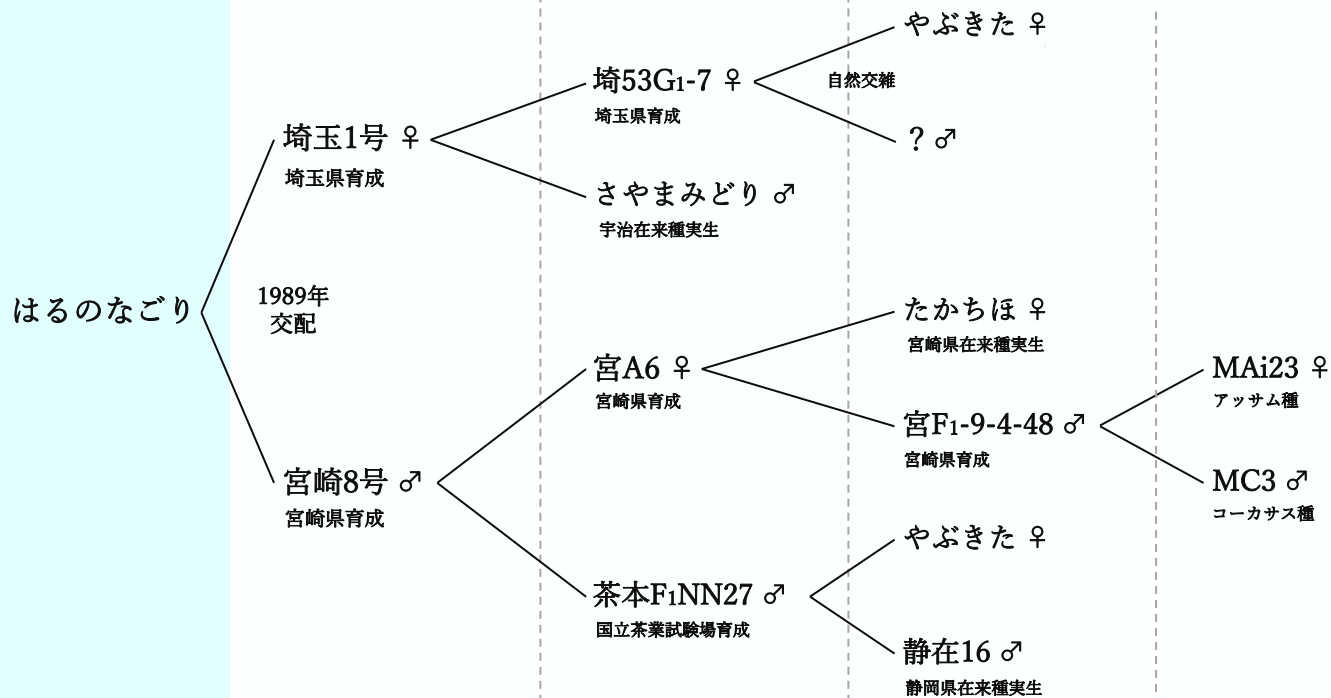
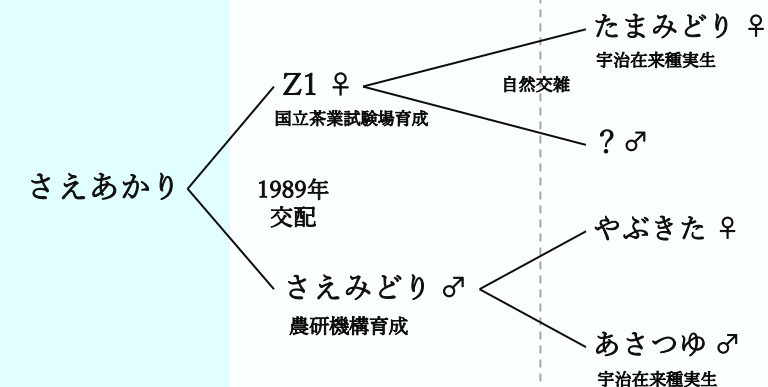
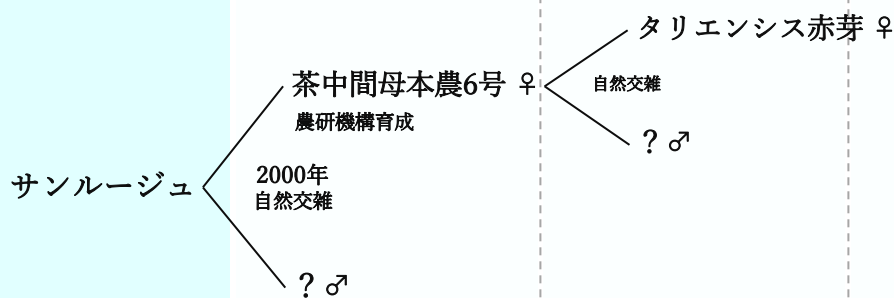


# 来歴

登録年月日  
育成機関  
登録番号

品 種

来 歴



2011年  
12月20日  
農研機構  
第21262号

2012年  
11月14日  
農研機構  
第22070号

2012年  
11月14日  
宮崎県  
第22068号

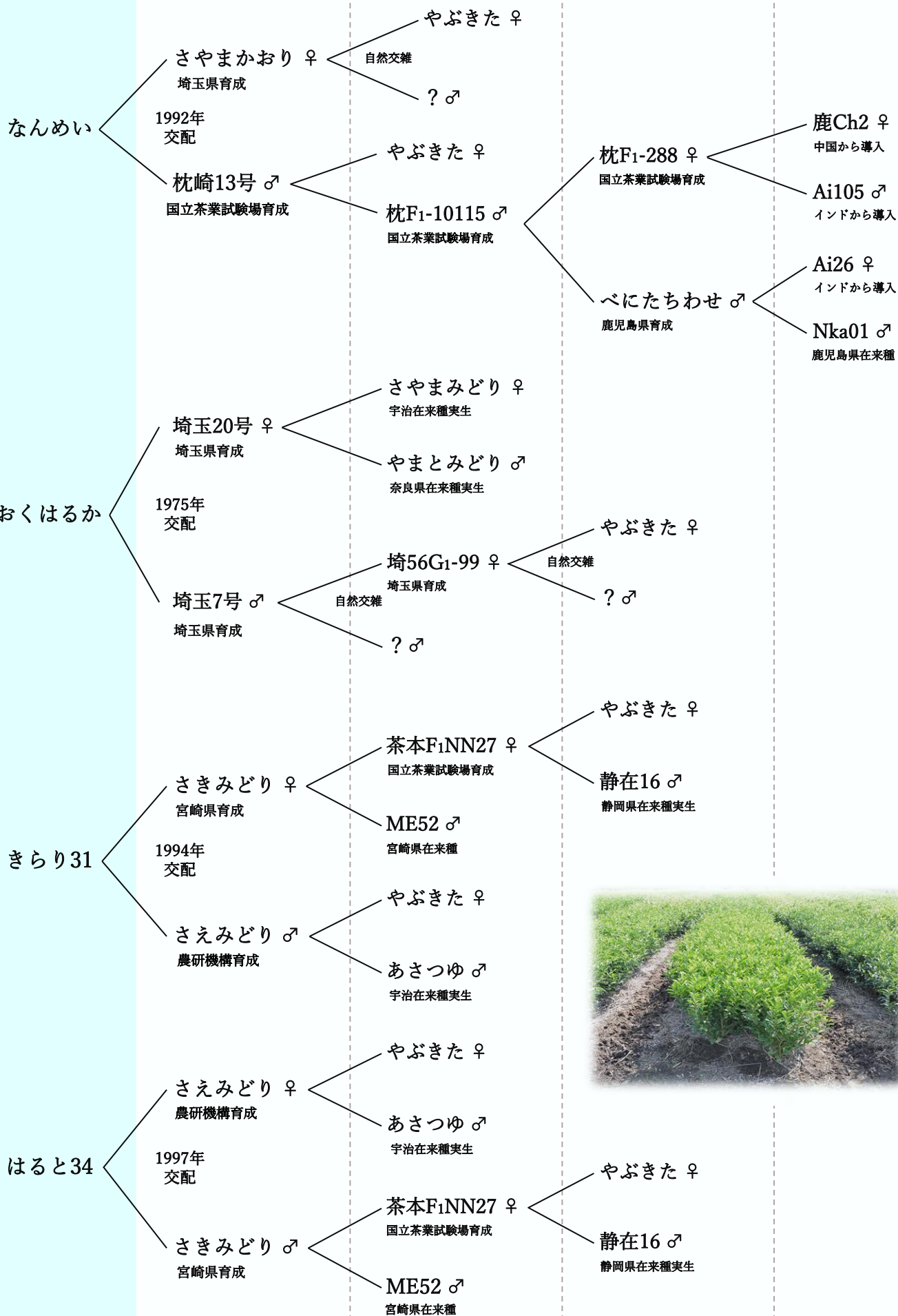
2012年  
11月14日  
宮崎県  
第22071号

# 品 種

登録年月日  
育成機関  
登録番号

品 種

来 歴





# 来歴

登録年月日  
育成機関  
登録番号

品 種

来 歴

2020年  
3月30日  
農研機構  
第27874号

せいめい

ふうしゅん ♀  
農研機構育成  
1992年  
交配  
さえみどり ♂  
農研機構育成

Z1 ♀  
国立茶業試験場育成  
かなやみどり ♂  
国立茶業試験場育成  
やぶきた ♀  
あさつゆ ♂  
宇治在来種実生

たまみどり ♀  
宇治在来種実生  
自然交雑  
? ♂  
S6 ♀  
静岡県在来種実生  
やぶきた ♂

2020年  
11月19日  
農研機構  
第28148号

きよか

FYZ-41 ♀  
国立茶業試験場育成  
1998年  
交配  
さえみどり ♂  
農研機構育成

やぶきた ♀  
静印雑131 ♂  
インド導入系統実生  
やぶきた ♀  
あさつゆ ♂  
宇治在来種実生

アッサム系 ♀  
自然交雑  
? ♂

2021年  
1月26日  
宮崎県  
第28265号

暖心37

さえみどり ♀  
農研機構育成  
2000年  
交配  
ゆめかおり ♂  
宮崎県育成

やぶきた ♀  
あさつゆ ♂  
宇治在来種実生  
さやまかおり ♀  
埼玉県育成  
宮崎8号 ♂  
宮崎県育成

やぶきた ♀  
自然交雑  
? ♂  
宮A6 ♀  
宮崎県育成  
たかちほ ♀  
宮崎県在来種実生  
宮F1-9-4-48 ♂  
(MAi23 ♀ × MC3 ♂)  
茶本F1NN27 ♂  
国立茶業試験場育成  
やぶきた ♀  
静在16 ♂  
静岡県在来種実生



2022年  
3月15日  
農研機構  
第28987号

かなえまる

金F183 ♀  
国立茶業試験場育成  
1994年  
交配  
金谷13号 ♂  
国立茶業試験場育成

ゆたかみどり ♀  
国立茶業試験場育成  
さやまかおり ♂  
埼玉県育成  
AN3 ♀  
A2 ♀  
アッサム導入  
S26 ♂  
静岡在来  
かなやみどり ♂  
国立茶業試験場育成  
あさつゆ ♀  
宇治在来種実生  
? ♂  
やぶきた ♀  
自然交雑  
? ♂  
S6 ♀  
静岡県在来種実生  
やぶきた ♂

# 苗の入手

品種	生産者の名称	郵便番号	住所	電話番号	FAX
さきみどり	真輝園 真茅 輝彦	898-0096	鹿児島県枕崎市まかや町127	0993-73-2461	0993-73-2461
	前原 公也	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19341	0993-85-3489	0993-85-3489
	宮崎県茶業協会	880-8501	宮崎県宮崎市橘通東2丁目10-1 農産園芸課内	0985-65-3334	0985-65-3334
	静岡県経済農業協同組合連合会	422-8620	静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8-1	054-284-9719	054-282-1251
	増田 尚士	427-0108	静岡県島田市牧之原303	0547-38-2713	-
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
りょうふう	(株)まるこ	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19341	0993-85-3489	0993-85-3489
	静岡県経済農業協同組合連合会	422-8620	静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8-1	054-284-9719	054-282-1251
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
むさしかおり	静岡県経済農業協同組合連合会	422-8620	静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8-1	054-284-9719	054-282-1251
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
	一般社団法人 埼玉県茶業協会	358-0042	埼玉県入間市上谷ヶ貫244-2 埼玉県茶業研究所内	04-2937-1657	04-2937-1658
はるみどり	(株)まるこ	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19341	0993-85-3489	0993-85-3489
	前原 博法	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19152	0993-85-3986	0993-85-3986
	真茅商店 真茅 文男	898-0096	鹿児島県枕崎市まかや町160	0993-76-3425	0993-76-3425
	真輝園 真茅 輝彦	898-0096	鹿児島県枕崎市まかや町127	0993-73-2461	0993-73-2461
	静岡県経済農業協同組合連合会	422-8620	静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8-1	054-284-9719	054-282-1251
	永田農園 永田 憲三	428-0039	静岡県島田市金谷猪土居3792	0547-45-2572	0547-45-2572
	渡辺樹苗園 渡辺 二郎	417-0807	静岡県富士市神戸469	0545-21-5632	0545-21-5632
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
そうふう	(株)まるこ	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19341	0993-85-3489	0993-85-3489
	真茅商店 真茅 文男	898-0096	鹿児島県枕崎市まかや町160	0993-76-3425	0993-76-3425
	静岡県経済農業協同組合連合会	422-8620	静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8-1	054-284-9719	054-282-1251
	永田農園 永田 憲三	428-0039	静岡県島田市金谷猪土居3792	0547-45-2572	0547-45-2572
	渡辺樹苗園 渡辺 二郎	417-0807	静岡県富士市神戸469	0545-21-5632	0545-21-5632
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
はるもえぎ	真輝園 真茅 輝彦	898-0096	鹿児島県枕崎市まかや町127	0993-73-2461	0993-73-2461
	前原 公也	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19341	0993-85-3489	0993-85-3489
	宮崎県茶業協会	880-8501	宮崎県宮崎市橘通東2丁目10-1 農産園芸課内	0985-65-3334	0985-65-3334
みやまかおり	宮崎県茶業協会	880-8501	宮崎県宮崎市橘通東2丁目10-1 農産園芸課内	0985-65-3334	0985-65-3334
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
さいのみどり	静岡県経済農業協同組合連合会	422-8620	静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8-1	054-284-9719	054-282-1251
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
	一般社団法人 埼玉県茶業協会	358-0042	埼玉県入間市上谷ヶ貫244-2 埼玉県茶業研究所内	04-2937-1657	04-2937-1658
ゆめわかば	静岡県経済農業協同組合連合会	422-8620	静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8-1	054-284-9719	054-282-1251
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
	一般社団法人 埼玉県茶業協会	358-0042	埼玉県入間市上谷ヶ貫244-2 埼玉県茶業研究所内	04-2937-1657	04-2937-1658
ゆめかおり	前原 公也	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19341	0993-85-3489	0993-85-3489
	宮崎県茶業協会	880-8501	宮崎県宮崎市橘通東2丁目10-1 農産園芸課内	0985-65-3334	0985-65-3334
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
しゅんたろう	真茅商店 真茅 文男	898-0096	鹿児島県枕崎市まかや町160	0993-76-3425	0993-76-3425
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
サンルージュ	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
さえあかり	真茅商店 真茅 文男	898-0096	鹿児島県枕崎市まかや町160	0993-76-3425	0993-76-3425
	(株)まるこ	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19341	0993-85-3489	0993-85-3489
	前原 博法	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19152	0993-85-3986	0993-85-3986
	(有)マエカズ園	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19288	0993-85-3076	0993-85-3076
	真輝園 真茅 輝彦	898-0096	鹿児島県枕崎市まかや町127	0993-73-2461	0993-73-2461
	永田農園 永田 憲三	428-0039	静岡県島田市金谷猪土居3792	0547-45-2572	0547-45-2572
	渡辺樹苗園 渡辺 二郎	417-0807	静岡県富士市神戸469	0545-21-5632	0545-21-5632
	増田 高穂	427-0108	静岡県島田市牧之原303	0547-38-2713	0547-38-2713
	静岡県経済農業協同組合連合会	422-8620	静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8-1	054-284-9719	054-282-1251
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
はるのなごり	前原 公也	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19341	0993-85-3489	0993-85-3489
	宮崎県茶業協会	880-8501	宮崎県宮崎市橘通東2丁目10-1 農産園芸課内	0985-65-3334	0985-65-3334
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566

# 先一覽

品種	生産者の名称	郵便番号	住所	電話番号	FAX
なごみゆたか	前原 公也	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19341	0993-85-3489	0993-85-3489
	宮崎県茶業協会	880-8501	宮崎県宮崎市橋通東2丁目10-1 農産園芸課内	0985-65-3334	0985-65-3334
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
なんめい	前原 博法	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19152	0993-85-3986	0993-85-3986
	眞茅商店 眞茅 文男	898-0096	鹿児島県枕崎市まかや町160	0993-76-3425	0993-76-3425
	(株)まるこう	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19341	0993-85-3489	0993-85-3489
	眞輝園 眞茅 輝彦	898-0096	鹿児島県枕崎市まかや町127	0993-73-2461	0993-73-2461
	渡辺樹苗園 渡辺 二郎	417-0807	静岡県富士市神戸469	0545-21-5632	0545-21-5632
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
おくはるか	(株)まるこう	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19341	0993-85-3489	0993-85-3489
	渡辺樹苗園	417-0807	静岡県富士市神戸469	0545-21-5632	0545-21-5632
	静岡県経済農業協同組合連合会	422-8620	静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8-1	054-284-9719	054-282-1251
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
	一般社団法人 埼玉県茶業協会	358-0042	埼玉県入間市上谷ヶ貫244-2 埼玉県茶業研究所内	04-2937-1657	04-2937-1658
きりり31	眞輝園 眞茅 輝彦	898-0096	鹿児島県枕崎市まかや町127	0993-73-2461	0993-73-2461
	(株)まるこう	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19341	0993-85-3489	0993-85-3489
	(有)マエカズ園 前原 加代子	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19288	0993-85-3076	0993-85-3076
	宮崎県茶業協会	880-8501	宮崎県宮崎市橋通東2丁目10-1 農産園芸課内	0985-65-3334	0985-65-3334
	福岡県茶生産組合連合会	834-0065	福岡県八女市亀甲55-1	0943-25-2887	0943-25-2888
	三重県茶業会議所	514-0003	三重県津市桜橋1-649	059-226-8551	059-227-9654
	静岡県経済農業協同組合連合会	422-8620	静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8-1	054-284-9719	054-282-1251
	永田農園 永田 憲三	428-0039	静岡県島田市金谷猪土居3792	0547-45-2572	0547-45-2572
	増田 尚士	427-0108	静岡県島田市牧之原303	0547-38-2713	-
	渡辺樹苗園	417-0807	静岡県富士市神戸469	0545-21-5632	0545-21-5632
日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566	
せいめい	眞茅商店 眞茅 文男	898-0096	鹿児島県枕崎市まかや町160	0993-76-3425	0993-76-3425
	眞輝園 眞茅 輝彦	898-0096	鹿児島県枕崎市まかや町127	0993-73-2461	0993-73-2461
	前原 博法	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19152	0993-85-3986	0993-85-3986
	(有)丸野製茶	897-0302	鹿児島県南九州市知覧町郡11553	090-8289-2774	0993-83-2884
	(株)まるこう	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19341	0993-85-3489	0993-85-3489
	(有)マエカズ園 前原 加代子	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19288	0993-85-3076	0993-85-3076
	アネット(有)	893-0012	鹿児島県鹿屋市王子町4455-1	0994-44-4415	0994-44-4835
	三重県茶業会議所	514-0003	三重県津市桜橋1丁目649番地	059-226-8551	059-227-9654
	増田 高穂	427-0108	静岡県島田市牧之原303	080-5104-4354	0547-38-2713
	渡辺樹苗園 渡辺 二郎	417-0807	静岡県富士市神戸469	0545-21-5632	0545-21-5632
	静岡県経済農業協同組合連合会	422-8620	静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8-1	054-284-9719	054-282-1251
	永田農園 永田憲三	428-0039	静岡県島田市金谷猪土居3792	0547-45-2572	0547-45-2572
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
はると34	前原 公也	891-0911	鹿児島県南九州市知覧町塩屋19341	0993-85-3489	0993-85-3489
	眞輝園 眞茅 輝彦	898-0096	鹿児島県枕崎市まかや町127	0993-73-2461	0993-73-2461
	宮崎県茶業協会	880-8501	宮崎県宮崎市橋通東2丁目10-1 農産園芸課内	0985-65-3334	0985-65-3334
	静岡県経済農業協同組合連合会	422-8620	静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8-1	054-284-9719	054-282-1251
	渡辺樹苗園 渡辺 二郎	417-0807	静岡県富士市神戸469	0545-21-5632	0545-21-5632
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
きよか	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
暖心37	宮崎県茶業協会	880-8501	宮崎県宮崎市橋通東2丁目10-1 農産園芸課内	0985-65-3334	0985-65-3334
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566
かなえまる	(有)眞輝園	898-0096	鹿児島県枕崎市まかや町127	0993-73-2461	0993-73-2461
	増田 高穂	427-0108	静岡県島田市牧之原303	0547-38-2713	0547-38-2713
	渡辺樹苗園 渡辺 二郎	417-0807	静岡県富士市神戸469	0545-21-5632	0545-21-5632
	静岡県経済農業協同組合連合会	422-8620	静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8-1	054-284-9719	054-282-1251
	永田農園 永田憲三	428-0039	静岡県島田市金谷猪土居3792	0547-45-2572	0547-45-2572
	日本紙通商(株)	101-8210	東京都千代田区神田駿河台4-6	03-6665-7444	03-6260-8566

※2022年8月時点の情報です。本一覧に掲載されていても品切れ等のために種苗を入手できないことがあります。

# 品種に関するお問い合わせ

農研機構 果樹茶業研究部門 茶業研究領域

<https://www.naro.go.jp/laboratory/nifts/introduction/chart/07/index.html>



## ★ 枕崎茶業研究拠点

〒898-0087 鹿児島県枕崎市瀬戸町87

TEL 0993-76-2126 FAX 0993-76-2264

## ★ 金谷茶業研究拠点

〒428-8501 静岡県島田市金谷猪土居 2769

TEL 0547-45-4101 FAX 0547-46-2169

## ★ 埼玉県茶業研究所

〒358-0042 埼玉県入間市上谷ヶ貫244-2

TEL 04-2936-1351 FAX 04-2936-2891

<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0914/index.html>



## ★ 宮崎県総合農業試験場茶業支場

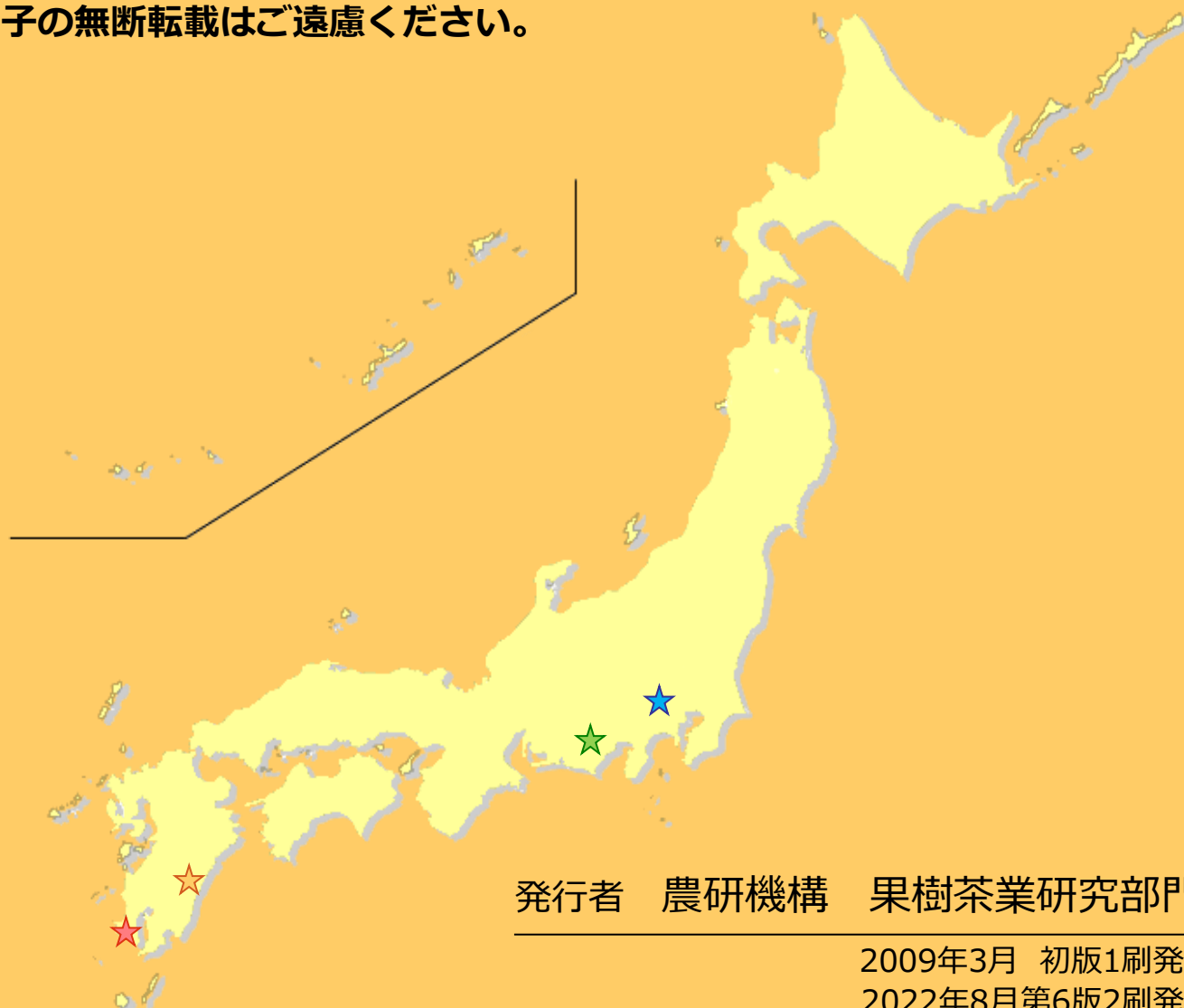
〒889-1301 宮崎県児湯郡川南町大字川南17070

TEL 0983-27-0355 (代) FAX 0983-27-1314

<https://www.pref.miyazaki.lg.jp/sogonogyoshikenjo/shigoto/nogyo/introduce/chagyo.html>



本冊子の無断転載はご遠慮ください。



発行者 農研機構 果樹茶業研究部門

2009年3月 初版1刷発行  
2022年8月第6版2刷発行